

## 「あなたのゴスペルクワイア体験」アンケート

- Q01 : あなたのゴスペル歴
- Q02 : あなたがいつもゴスペルを歌っている場所はどこですか？
- Q03 : あなたの所属しているグループのお名前
- Q04 : あなたの性別・年齢
- Q05 : あなたのご職業
- Q06 : あなたのお名前
- Q07 : あなたがゴスペルと出会ったきっかけは何ですか？
- Q08 : 実際に歌ってみる前に、あなたはゴスペルに対してどんな知識やイメージを持っていましたか？
- Q09 : あなたの所属しているクワイアの存在はどのようにして知りましたか？
- Q10 : そのクワイアを選んだ理由は？
- Q11 : あなたがゴスペルを歌おうと決めた理由をお聞かせください。
- Q12 : ゴスペルクワイアに参加するのに際して、何か心配・不安に思っていたことはありましたか？ あったとしたら、それはどんなことでしたか？
- Q13 : 実際にゴスペルクワイアに参加して歌い始めてみて、驚いたこと、発見した、変わったことなどがあれば教えてください。
- Q14 : あなたの参加しているゴスペルクワイアのすばらしいところ、好きなところを教えてください。
- Q15 : あなたはゴスペルのどんなところが好きですか？
- Q16 : あなたが今まで歌ったゴスペルの中で一番好きな歌を1曲だけ教えてください。よろしければその理由もお聞かせください。
- Q17 : あなたの好きなゴスペルシンガー/アーティストがいれば名前を教えてください。
- Q18 : ゴスペルを歌っている時、あなたにとっては何が一番楽しいですか？
- Q19 : 「ゴスペルを歌っていて、よかったな」と思うのはどんな時ですか？
- Q20 : ゴスペルを歌う時、あなたは歌詞の中身を意識しますか？
- Q21 : 「クリスチャンとしての信仰を持っていないと、ゴスペルは歌えない」という考えについてあなたはどのように思いますか？
- Q22 : あなたはクリスチャンですか？
- Q23 : 「ゴスペルを歌う」ことは、あなたにとって今、どんな意味をもっていますか？
- Q24 : これからもゴスペルを歌い続けたいと思っていますか？

ウェブ・サイト<Hush Harbor>での呼びかけ、メールその他でのお願いに対して、短期間の実施にもかかわらず、全国99のクワイア、総計399人の方々にご回答いただきました。本当にご協力ありがとうございました。

# 全 国 私たちのゴスペル白書

# ゴスペル

# クワイア

# アンケート

# プロジェクト

ゴスペル・ブームと言われて、もどれくらい経ったのでしょうか。90年代に入って、日本各地でゴスペル教室・講座が盛んになり、OLを中心に様々な年齢層の人達が、今まで僕らにとって、アメリカの黒人音楽・宗教音楽、だった元気のいい唄を歌うようになりました。そして気がつけばもうブームは過ぎ去り、今では全国のゴスペル人口は数万人とも言われています。ゴスペル・クワイアと呼ばれるグループも、カルチャー・スクールのゴスペル教室、教会のクワイア、コーラス・グループ、コミュニティのクワイアと、活動のスタイルは様々です。僕自身も1999年から始めたゴスペルのワークショップでたくさんの人たちに出会い、そこで共に歌い、また主宰するゴスペルのウェブ・サイト「Hush Harbor」を通じて、以来全国に広がるゴスペル・クワイアの

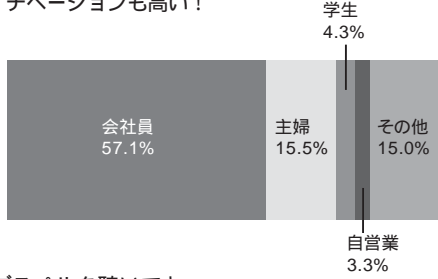
みなさんとネットワークを結び、せていただきました。自分にとってのゴスペル、みんなもそれを同じように感じているのかな。クリスチャンが全人口の1%未満のこの国に、これだけゴスペルを歌う人達のすそ野が広がってれば、ゴスペルに対する感じ方もいろいろなのではないか。そんなみんなの気持ちが見えてくれば、この国にとって「ゴスペルって何だろう」ということもわかってくるのではないか。そう思っていたのです。

そんな時に、ちょうどこの本を書き始めました。全国のゴスペル・クワイアのみなさんに協力していただき、このチャンスに、アンケートを実施させてもらおう！「みんなにとってのゴスペル」がどんなものなのかを感じられるように。

そんなわけで、このよつな質問票が出来上がりました。

# Q 05 あなたのご職業

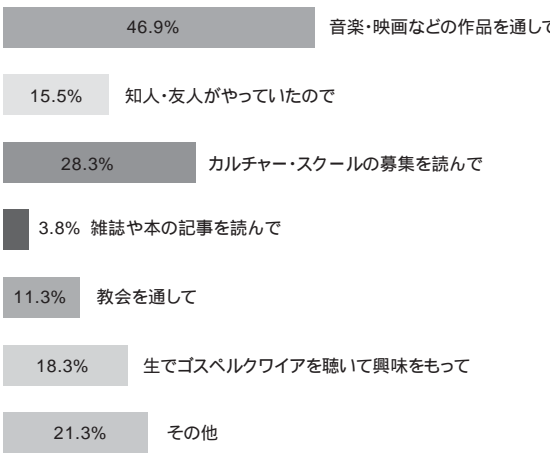
会社員（OL）が半数以上、主婦、学生と続きます。ということは、会社帰りか、休日に歌っているという方が多いということ。時間を作ってまで歌っているだけに、モチベーションも高い！



# Q 07 あなたがゴスペルと出会ったきっかけは何ですか？

- 音楽・映画などの作品を通して
- 知人・友人がやっていたので
- カルチャースクールの募集を見て
- 雑誌や本の記事を読んで
- 教会を通して
- 生でゴスペルクワイアを聴いて興味をもって
- その他

やはり、生でゴスペルを聴いてというのも含めて、音楽・映画から入るというパターンが多かった。「天使にラヴ・ソングを...1/2」と書いた方は122名。約1/3ですね。影響はあなどれない！ゴスペル・コンサートが増えてきたことも大きい。カルチャー・スクール28.3%に対して、教会11.3%。思ったよりもカルチャースクールが根強いのです。その他のきっかけとしては...



## さらにその他の回答には

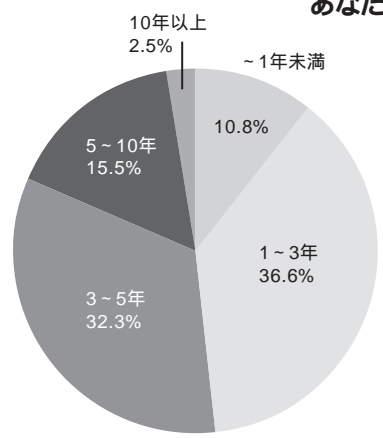
アレサ・フランクリンのCD  
マヘリア・ジャクソンのCD  
野のユリ AMEN(1964年)  
ルーツ(クンタキンテですね)  
カラーパープル  
天使の贈り物  
ワークショップに参加して(ラニー's多数)  
学校の授業/部活を通して(教会賛美歌、黒人霊歌を学校で習ってハーモニーの美しさに感動)  
市民クワイア募集に応募して  
もともと歌が好きで何か習いたかった

TVを見て(ドキュメンタリーなど)  
新聞を見て  
インターネット  
メルマガ  
ラジオ  
NHK教育テレビ「ゴスペルを歌おう」  
ばど  
LOVE CIRCUSのライブで塩谷さんのゴスペルを聞いて  
友人とクリスマスに向けて結成する。  
結婚式で歌ってもらったので  
ゴスペルを歌うことで英語も学べると思ったから

Mama, I Want To Sing (ミュージカル)  
彼女たちの時代(テレビドラマ)  
ブルースブラザーズ(映画)  
好きな歌手がゴスペルをルーツとしてあげていた(R&B、HipHopを聞きはじめて、CDの中にゴスペルの曲があり気に入ったので)  
ミュージカル・ミッション系の学校に行ったことできっかけを得た

は結構多いです。

# Q 01 あなたのゴスペル歴

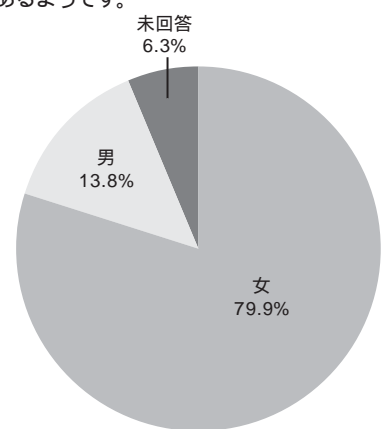
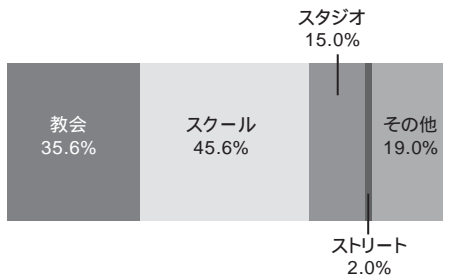


7割近くの方がゴスペル歴1年~5年までの間に入っています。それに続く数字が、5~10年の15.5%というのが、ゴスペルがもうブームを越えて根付いていることを実証していますね。同じ質問を、90年代半ば頃に実施していたら、~1年未満という回答が圧倒的に多かったと予想されます。

# Q 02 あなたがいつもゴスペルを歌っている場所はどこですか？

- 教会
- スクール
- スタジオ
- ストリート
- その他

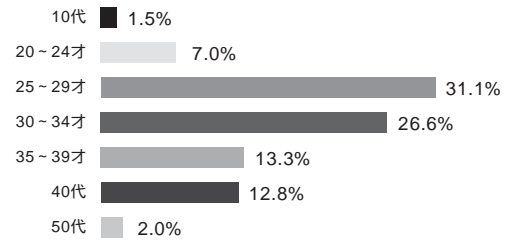
半数弱がスクールという回答。カルチャー・スクールなどのゴスペル教室が、やはり多数派なのがわかります。一方、教会の35.6%という数字も相当高い数字。教会側がクワイアを立ち上げ、人々を招くケースが増えてきました。練習場所を提供している場合もあるようです。



これは予想通り圧倒的に女性の勝ち。成人男性陣は社会的制約が多いからなかなか時間を作れない、ということだけでもないような気がします。新しいことを気軽に始められるフットワークが重いのでは？この本を読んだことをきっかけに歌いましょう(笑)

# Q 04 あなたの性別・年齢

20代後半~30代前半の女性というのが、ゴスペルを歌っている人の過半数以上。マジョリティのイメージは思った通りでした。25歳以下が8.5%、35歳以上が28.1%と幅広い年代の方々の心をつかんでいます。



# Q 10

そのクワイアを選んだ理由は？  
自由表記で書いていただいた回答の傾向を見てみますと...

## 場所/時間が都合し

まずこれが一番多かったです。仕事を持っている人が多いので、通いやすいという点が重要なのでしよう。

- ・会社から近くて便利。
- ・レッスン日の時間とパンフレット掲載の先生のコメント。
- ・通勤帰りに無理なく通える、便利。
- ・よく通うところにたまたまあった。
- ・車で通える。サイトを見て好感。
- ・家から近く、教会でやっていたから。そしたらなんと、すごく落ち着ける場所でもあった。
- ・家から近いカルチャーセンターで開講され、体験コースでどんな感じが試す事ができると思ったので。
- ・他と違って遅い時間に始まるので、多少の残業があっても間に合う。

## ディレクター

これも重要なようですね。クリスチャンの人、ゴスペルのことをよく知っている人が少ない状況では、楽しいいい唄を歌いながらゴスペルのメッセージを伝えるディレクターが必要です。

- ・先生が気に入ったから。
- ・ゴスペルの背景、宗教的なことも含めきちんと教えてくださる先生の姿勢、そしてなんとっても抜群の歌唱力に一目惚れ!
- ・リーダーの英語の発音がきれいだった。
- ・先生から発せられる力に強く惹かれたため。
- ・募集広告の先生のコメントに惹かれました。
- ・メルマガを読んで先生の言葉に心を打たれて。その後雑誌を見ていたら先生の記事があり、クラスを担当されていることを知ったので。
- ・男の先生で楽しく気楽にできそうだったので。
- ・指導してくださる先生を尊敬しているのが一番の理由。
- ・先生が黒人女性で本格的だから。
- ・いろいろなスクールを見学に行きましたが、先生は「純粋に歌う事を楽しむ」という事を教えてくれました。

- ・先生が面白くて授業が楽しいと聞いたので。
- ・先生のやっているバンドのファンだったから。
- ・プロが教えるということだったから。
- ・知り合いにこの先生だったら間違いないと言われたので。

## 体験してみる

これはゴスペルを歌ってみる上でとても大切なこと。何たって体験してみても初めてわかる感覚なので。

- ・初めて歌ったときにとにかく楽しくて、気が付いたらもう6年も歌っています。
- ・体験レッスンが想像以上に楽しかったこと。
- ・自由な雰囲気でもみんながとても楽しそうに歌っていたから。
- ・体験レッスンで歌った時、すごく気持ち良くて、楽しかったから。選曲がGood!
- ・見学に行ったらはまりました。
- ・初めてゴスペル教室に見学に行き、一緒に歌ってみて何か心に響くものを感じたから。
- ・雰囲気良かった。音痴な私でも受け入れてくれた。

## 友人がいた(薦めてくれた)

やっぱりこれが一番安心できることですね。

- ・友達と一緒にいけへん?って。背中を押してくれたから。
- ・たまたま誘われて。
- ・友人がそのクワイアに所属しており、とても楽しそうだったから。
- ・友人が入っていたからですが、他のクワイアへ移ろうとは思ったことはなく、ここがすごく自分の居場所だと思ったから。
- ・一度ライブを見た時に、とても上手で知り合いの人に紹介してもらった。
- ・友達がゴスペルにはまって楽しんでいると聞いたので。

## その他

- ・自分の力でグループを動かしてみたかったから。
- ・新規開講だったので初心者でも安心だった。
- ・私はクリスチャンではなく、ただ、ゴスペルを歌ってみたい、という興味から参加したので、教会等で行っているものよりも、スクールの方が抵抗なく参加できる気がしたので。

# Q 11

あなたがゴスペルを歌おうと決めた理由をお聞かせください。

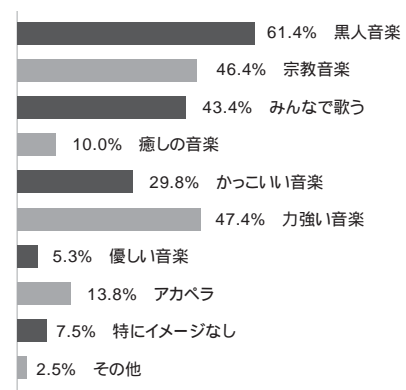
回答の傾向は:  
楽しく歌いた  
なりたい/ハモ  
りたい/思いき  
り声を出した  
たい/感情表現し  
たい

ほとんどの人が「楽しくココロと体を解放して歌いたい」と思っています。その理由は、会社や生活でのストレスもあるでしょう。ストレスを飛ばせたい、ココロも体も思いっきり歌える場所。カラオケのようには閉鎖された場所でもマイクで歌うのではなく、開かれた場所で生声を互いに響かせられる場所なんて、そういう学校卒業したらないですね。コーラス/合唱など比べて解放感の強いイメージをゴスペルに持っているようです。クラップする。体を動かす。おなかの底から声を出して自由かも。

# Q 08

実際に歌ってみる前に、あなたはゴスペルに対してどんな知識やイメージを持っていましたか？

- 1.黒人音楽
- 2.宗教音楽
- 3.みんなで歌う音楽
- 4.癒しの音楽
- 5.カッコいい音楽
- 6.力強い音楽
- 7.優しい音楽
- 8.アカペラ
- 9.特にイメージはもっていません



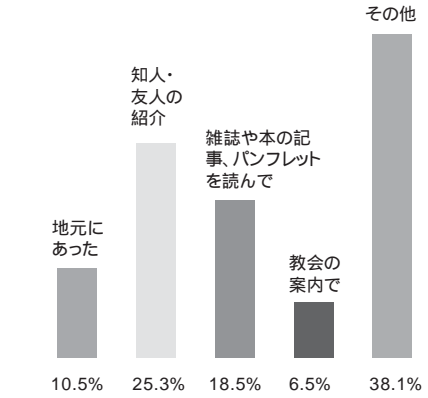
黒人音楽というのはわかりますね。今でもゴスペルのアルバム・ジャケットには黒人の写真を使う場合が多いです。ゴスペル=黒人、はわかりやすいのでしよう。そして宗教音楽、みんなで歌う音楽、力強い音楽というイメージも「黒人の元気のいいクワイア」に合致します。カッコいい音楽とアカペラが、癒しの音楽に勝っているというのは、カルチャー・スクールがマジヨリテイというのが大きいかも。歌ってる人はわかると思うけど、ゴスペルって元気のいい曲ばかりじゃなくて、すっぴんと染みこんでくるような癒しの曲も多しただけだね。癒しをチエツクしてくれた人達は、教会ベースのクワイアが割りりと多かったです。なぜが僕のクワイアにも多い(笑)

- その他のイメージとしては...
- ・ハーモニーが美しい
  - ・リズム感溢れる(リズムが命の音楽/ノリノリの音楽/踊れる音楽)
  - ・ソウルフルな感じ(魂が揺さ振られる音楽/魂の叫び)
  - ・歌っていて楽しそう(自由に楽しく歌う)
  - ・聖歌隊のイメージ
  - ・福音(Jesus に向けた音楽/現代版の賛美歌/人に良きものを伝えるメッセージ)
  - ・クリスチャンでもない自分がまさか歌えるなんて思ってもなかった。
  - ・「何」かは分からないけれど、心に響く
- 他の音楽とは少し違うイメージ
- ・信仰と芸術の一体化
  - ・自然体で賛美をする音楽
  - ・ゴスペルがどういう音楽か知らなかった
  - ・英語で歌う
  - ・体を動かせる(スポーツほど疲れず)
  - ・声だけでなく体も魂も全てで表現する音楽
  - ・R & B のルーツ
  - ・黒人の歴史を支えてきた音楽(黒人差別との闘いから生まれてきた音楽)
  - ・その時その時の自分の生き方を反映する音楽
  - ・音楽の原点のようなもの。

# Q 09

あなたの所属しているクワイアの存在はどのようにして知りましたか？

- 1.地元にあった
- 2.知人・友人の紹介
- 3.雑誌や本の記事、パンフレットを読んで
- 4.教会の案内で
- 5.その他



その他回答の中に、情報誌やカルチャー・スクールも含まれていましたので、雑誌、本、パンフレットで3~4割はいくでしょう。それと口コミによる情報で主にクワイアやゴスペルを歌う場所を知るようです。特筆すべきは、インターネットでしょう。いくつかあるゴスペル・ウェブ・サイトのリンクから情報を得ている方も少なくありません。

- その他回答としては...
- インターネット検索で(30名程度)
  - ケイコとマナブ(10名)
  - シティリビング(4名)
  - 自分たちで作った 結構多い。

# あなたがゴスペルを歌おうと 決めた理由をお聞かせください。 Q 1 1



「歌うのは好きでカラオケにはよく行ってたのですが、歌って終わり、という感じで少しむなしさも感じていました。そんなときにゴスペル・クワイアのライブに行ったところ、とても楽しそうに歌っていて、自分も歌ってみたいと思いました」

- ・思いきり大声で歌うので、楽しそう（スカッとしそう）ハモると気持ち良さそう。
- ・クラブしながら皆で大声で歌え、無の状態になれることやみつきになって。
- ・GOOD NEWSのCDを聞いていたら、聞くだけではものたりなくなって、「自分も歌わなくちゃ!」と思った。すごく歌いたいと思った。
- ・とにかく何か歌いたかった、声を出したかった。映画を観てゴスペルにずっとあこがれていた。それが重なって、ゴスペルは地声で素直に大声で歌えて、ハモれて、思いっきり楽しめるから。
- ・今まで、こんな気持ちで歌を歌ったことがなく、歌わされると思えたから。
- ・私には、歌う場所が必要だったので。

- ・歌ってみたら、すーっごく楽しかったから。
- ・映画やテレビなどを見てみんなで歌うのは気持ち良さそうだなと思って、クラシックはどうも苦手なためゴスペルを選びました。
- ・映画に影響されて、自分でも歌えたら楽しいだろうなと、あまり深く考えずに決めた。
- ・ゴスペルのライブを見て楽しそうだったので歌い始めました。
- ・大人で声一つにして歌うのが気持ち良さそうだったから。
- ・コーラス隊は嫌だが、ゴスペルは地声で素直に大声で歌えて、ハモれて、思いっきり楽しめるから。
- ・歌っていて楽しくて幸せだったから。ノンクリスチャンだし、英語もできないので歌詞は理解できなかったけど、それでも歌っていて心が癒されたり、喜びでいっぱいになった。
- ・歌を聴いていてとても明るく楽しく元気をもらいました。私もその一員になって、大きな声をおもいきり出したい。と思いました。

- 力があるから。
- ・ハモることも好きだしストレス発散になればいいと思って。
- ・きっかけは単に歌うことが好きで、カッコ良く英語で歌いたかったから。
- ・もともと歌うことが好きでブラック・ミュージックも好きで自分で歌えるようになったら楽しいだろうなと思いゴスペルにしました。
- ・歌うことが好きだということ、そして未知の分野だったから。
- ・コンプレックスである「声が小さい」「音痴」を克服したく思い、大勢に混ざってのゴスペルなら両方克服できるかなと。
- ・歌は下手だけど好き。歌いたい。しかも腹の底から声をだして。
- ・みんなで歌う事が楽しさに繋がると思った。

- ・歌が好きだけれども声に自信がないので、みんなで一緒に楽しく歌うことが気楽でいいと思った。
- ・元々歌うことが好きだったが、ヘタなので一人でボカール・レッスンを受けるのはちょっと勇気がでなかった。
- ・家で一人で音楽を聞きながら歌ったり、カラオケで一時的に盛り上がるだけではなく、歌詞の意味を噛み締めながら、それに共感している人（仲間）と一緒にひとつの歌を歌えたら。
- ・ゴスペルは自分ひとりではなくみんなと大きな声で一体感を感じられるという魅力があるから。

- パワーをもらいたい。元氣になりたい。**
- 思い切り歌って元氣になりたい。渴いたココロを潤したい。ストレス解消。ゴスペルは見えぬものに向かつて歌う解放系の癒し。
- ・気づいたらいつのまにかずーと歌いたくなってました。
  - ・多分元氣になりたかったのかも。
  - ・パワーをもらいたかった。
  - ・私の支えになるものだと思ったから？
  - ・心からの、魂の発露があった。
  - ・クワイアの声に響き、ピュアな物を感じました。
  - ・神様を大好きな歌で賛美するなんて最高!だと思ったから。
  - ・大胆に神様を賛美したかったのと、声を張り上げて歌うのは気持ち良かったから。
  - ・仕事と家の往復が続いて入院した為、少しは自分の為に時間を使いたいと思った。大げさにいうと会社の奴隷みたいな扱いだっただ。好きな音楽をやることで癒されると思った。黒人奴隷が神に救いを求めたところに共感もてた。

## 新しいことを始めたい

人が新しいことを始めたいくなる時ってどんな時なんだろう。なんとなく今の自分がブレている時でしょうか。それとも余裕がある時でしょうか。それまで続いていたことが終わった時。人生の転機？新しいことを始めたいと思ってゴスペルを選んだ人の場合、他人との一体感、つながり、そして出会いを求めてという要素もあるように思いました。

- ・欲しかった。
- ・決まった人としがほとんど関わらない仕事なので、人との出会いを広げたかった。
- ・40になって『自分が生きている』事の確かな手ごたえが欲しくなりました。以前声楽も多少勉強していたのでコーラスに参加しようかと考えたのですが、もっと自分を表現出来るものとしてゴスペルを選んでみました。
- ・かっこいいと思ったから（クリスチャンになる前だったので）、子育てをしている中で何か刺激が欲しかった。そして黒人音楽が大好きだから。

- ・仕事を続ける日常の中で、学生時代の部活動のような、他人との一体感を感じる機会がなくなった。それなら道具がいらず、会社帰りでも身一つで参加できる歌がいいと思った。アメリカ留学中に出会った教会音楽を思い出して、英語に触れるいい機会もあると思い、ゴスペルを選んだ。ちょうど仕事にも行き詰まり、失恋していた時期で、前向きな自分を取り戻したかったので、昔から好きだった歌を歌いたかった。
- ・就職してすぐ彼氏とも別れ、仕事だけで終わる毎日を送っていて、このままでは自分がだめになると思っていた時に偶然ネットで生徒を募集しているのを見つけて軽い気持ちで応募しました。
- ・結婚・子育てと人生の流れに乗っていると、時間的拘束の長い演劇を続けていくのが困難になり暫く遠のいていました。そんな中「自分の時間を作れ」と主人の提案で、何か始めようとしていた時に目に入ってきたのがゴスペル講座。
- ・クラシックの声楽をずっとやってきたため、ゴスペルの方法論に驚きを感じた。全く違った価値観の中でやってみるのも悪くないと思って。
- ・多くの友人を失った時だったので、新しい“人との出会い”

## ハーモニー。一体感の魅力

ハーモニーはまさに声を通しての人と人の一体感、つながり、調和。ゴスペルの一体感。それは声の一体感。グループとしての一体感。同じ目的に向かつていく一体感。神さまへの賛美としての一体感。ゴスペルのハーモニーは音楽理論的に完璧なものを目指すが、それよりもむしろ、ココロの解放、それぞれの個性をそのまま生かしたふれ幅のある豊かなハーモニーです。音の間違えよ

- もったから。
- ・みんなで楽しめて、他の人にもかっこいいハーモニーで喜んでもらえると思い、始めようと思いました。
- ・個性が生き、かつハーモニーも楽しめ、リズムカルである音楽に前から魅かれていたから。
- ・皆と心一つにするハーモニーの素晴らしさと心の底から楽しい・歌いたいと思ったので。
- ・ハーモニーの美しい音楽は好きなので自分もやってみようと思った。
- ・ハモることも好きだしストレス発散になればいいと思って。
- ・ひとりで歌うのではなく『ハモりたい』と思い、ゴスペルに決めました。
- ・とにかく何かかっこいい歌を歌いたいと思いジャズ教室に通っていましたが、ジャズはソロで歌うことが主でした。ゴスペル教室の体験レッスンに行ったときは、みんなでハモれて気持ちがいいし、楽しく感じました。
- ・ゴスペルはただ単にアカペラや英語の曲ばかりではないので自分も教会の活動の中で様々なところで歌ってきました。歌を通して神様のすばらしさを体験し、また、伝えることが出来るし、自分だけではなく大勢の人たちと一つになって歌える喜びがあるから。

- ・色々な曲があり、新しい曲を習って皆とハーモニーが取れた時大満足がもたれませんが至福の時と思えるからです。
- ・いくつかのパートに分かれて歌って、それがきれいにハーモニーとして聞こえてくる時の爽快感を味わいたくて。
- ・これまでピアノなど個人でできる音楽をやってきたが、大勢で歌うことによって生まれるハーモニーの美しさに興味を

るとその通り楽しかった。でも楽しいだけでは、いずれ飽きてしまうでしょう。それがブーム。多くの人がゴスペルを歌っていく中で、楽しいだけじゃない何かを感じているようです。というより、その楽しさ自体の中に秘められた何かといえますか...一体感、心と体の解放感、人と人とのつながり... それは現代社会、しかも都会で忙しく暮らしているとなかなか難しいものばかりですね。

英語や黒人文化辺りがキーに。そして歌がうまくなりたいたい。リズム感がよくなりたいたいという人も。歌が好き。何か新しいことがしたい。ハモりたい。ストレスを解消したい。そんなココロの状態で、「天使にラブ・ソングを...1/2」やゴスペルのコンサートやカルチャー・スクールのパンフレットに触れて、みんなで歌うのって楽しそう!と思う。そして、やってみ

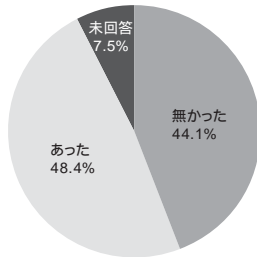




「クリスチャンではないのに歌うことができるのか？歌っていいのか？と真剣に悩みました」

# 12

## Q 12 ゴスペルクワイアに参加するのに際して、何か心配・不安に思っていたことはありましたか？あったとしたら、それはどんなことでしたか？



わずかながら「あった」に軍配が。でも思ったほど差に開きがなかったかな。これも5年前だったらもっと差が開いていたでしょう。無かったと答えられた人がこれだけいるということが大きな発見でした。未回答7.5%というのはどちらとも言えないということでしょうか。その心配や不安はと言いますと...

たの？と偏見の言葉をかけられたとき、どう返事してよいか迷った時。  
 ・宗教について全く知識がなかったので、教会に行くことで何が買われるとか洗脳されるのではという不安があった。  
 ・宗教活動をさせられるのではという不安。クリスチャンでなくてはゴスペルを歌ってはいけないのではないかと自問自答。  
 ・私自身クリスチャンではなく、ゴスペルはやはり宗教音楽ということなので、それらに関する不安がありました。教会やクワイアによってもそれぞれのカラーがありますので一概には言えませんが、宗教色の強いクワイアなどには初めのうちは戸惑いを感じました。  
 ・私は、クリス教を信仰しているわけではないので、歌だけ歌いに行っているのかな、とは考えました。  
 ・ゴスペルは好きだけれども、クリス教をうけ入れることがなかなかできなかった。  
 ・クリス教に入信しるとか、多額の寄付をしなさいとかそういうことが不安でした。また、音楽的にも束縛されてしまいう不安感がありました。  
 ・サークルを立ち上げた「言い出しっぺ」として、困った時に勝手にいるんな神様を引っ張りおろすような私たちが（私たちの神様はひとりじゃないので）どういうアプローチでゴスペルを理解していくか。また、私たちが歌える「ゴスペル」って一体どんな形になるのか。  
 ・黒人である苦しみなども知らずに歌ってよいか。  
 ・クリスチャンに囲まれて教会で歌う中、クリスチャンでない自分が歌っても良いのかという自問。一部メンバーの戸惑いなどをぶつけられた時。でも最終的にはみんなが支えてくれました。感謝してます。  
 ・クリス教徒ではないので、あまりに神様を称える歌詞に始めは少し抵抗がありました。「Jesus」を心の中で、「自分の大切な人やもの、生き方、信じるもの」とかに置きかえて歌っています。クリス教徒の方から見ると、こんな奴が歌っていることは許されるのかなあ？と思うときがあります。

### クリスチャンでなくてもいいのかな

予想通り一番大きな心配は、ゴスペルが根本的に、神を讃え、イエス・クリスを賛美する歌であるということに関わるもの。何となくクリスチャンがいなければゴスペルはこの世に生まれなかったわけですね。このことについて、みなさん最初はいるんな心配を持ってゴスペルを歌いはじめます。

あるので、無理に人信を勧められるのは不安だったが、カルチャー・スクールだったのでその心配はなかった。  
 ・宗教音楽なので、無神論者の主人に理解してもらえなかった。  
 ・本来宗教音楽なので、宗教的な色合いを濃く感じる時。ワークショップの指導者によっては宗教を強要されるような不安感を抱くとき。私は純粋に音楽のジャンルとしてゴスペル音楽を歌いたいし。  
 ・私の通ってるところはただの教室なので、歌詞についての宗教的な解説はありません。違うクワイアの方と接するほど、信仰の無い私が歌って伝えられるものがあるのか？本当に歌っていいのだろうか？と今だに思ってます。  
 ・ゴスペルを歌い始めた頃、家族・友人が宗教にハマッ

### グループの人たちになじめるかな 人間関係についても不安

これはあまり予想していませんでした。日本人独特の悩みのような気がします。我々日本人はなんとなくみんなとスムーズにやれるときが一番快適ですもんね。これも歌えば楽しくて、その後大体において解消されているようです。

- ・リズム感がないのでリズムに乗れるかどうか。
- ・楽譜がまよれへんのはどうするんや。ということでした。が、参加して即解決。先生が音符なんて「雰囲気」や。とのこと。うれしかった。
- ・歌声が大きくないので不安になりました。音域が狭い。
- ・全く、音楽の知識のない私が、ちゃんと歌えるのだろうかという不安があった。
- ・時間的な制約が心配でした。歌詞が英語なので憶えることができるか心配でした。
- ・ノリの良い曲になると、ちゃんと歌えるか少し不安でした。
- ・歌うことは好きだけれど、自信が無いので、みんなについていけるかどうか・・・ということ。
- ・リズム感が悪いので、裏拍で手拍子しながら、また踊りながら歌うのが出来るかどうか不安でした。（現在もそれは大きな課題となっています）
- ・ゴスペルはハーモニーが大事だから、ちゃんと自分のパートを歌えるのか、みんなについて行けるのか心配した。
- ・人前で歌なんか歌ったことがなかったから、恥ずかしかった。
- ・けっして歌が上手くないし、自分の声に自信がなかったので断られたらどうしようかと、自分だけすごくういて下手だったらどうしようかとおもいました。
- ・本当に黒人のように歌えるようになるのか？
- ・ただ歌うのが好きなので、ゴスペルに関しての知識も経験もなかった。

- ・今まで、いわゆるコーラスというものは学校の授業でしかやったことがなかったから、自分の声はゴスペルのイメージとは違うので、歌えるか不安でした。
- ・学生の時以来、クワイアという形で歌ったことがなかったのでなんと不安でした。
- ・歌が上手くないし、カラオケも苦手なのでついていけるか心配だった。
- ・声の悪い人を受け入れてくれるのか？
- ・歌が上手くないといけないのではないのか。
- ・英語に全く自信がなかったこと。
- ・全く初心者で、皆に迷惑をかけないか。

### ちゃんと歌えるかな

音痴 声が出ない。パートが覚えられないか。楽譜が読めない（読めなくていいんです）。英語ができない。これらは正直な不安でしょう。そして、歌い出しても、一番早く解決されていく不安でもあるでしょう。こういって不安をどう解消していくかが、ディレクターの腕の見せ所。英語が得意な人なんて、僕のワークショップに来てみなよ。

- ・声もあまり出ず、息も続かないのについて行けるか歌えるかどうか。
- ・音痴でリズム感がないこと。
- ・ゴスペルとは全く関係無い事ですが、当時体調があまりよくなかったで、きちんとレッスンに通えるかな...という心配がありました。が、初回を受けた時、すごく楽しくて次のレッスンが待ち遠しくなるほど。そんな不安はすぐに消えました。

- ・人間関係。興味が長続きするか。
- ・グループの人たちになじめるか不安があった。
- ・一人での参加だったので、初日は少し緊張しましたが、すぐに友達もできて不安もなくなりました。やはりゴスペルをやりたい！と思って来ている人たちはばかりなので、とても心が温かい人が多いと思いました。

- ・人前で唄うのはカラオケ以外は学生時代以来だし、カラオケも苦手。自己主張の強い個性的な芸術家気質の人ばかりだったら、一緒にできるか不安でした。
- ・ちょっとしたことなだけで、友達が出来るか心配だった。でも今となってはたくさんの友達がいます。
- ・講座でまるっきり初対面の人ばかりが集まっているので、はたして想像していたように楽しく歌えるのか、とか。



知らない人が多いいです。また歌い続ける中で、この「問い」に対する気持ちや自分の中で変化していく人が多いいよつです。

・とにかく予想していた以上に楽しい。信仰心に目覚めたとは言えないが、心の開放を実感し、漠然と神の存在を感じ初めているかもわからない。  
・最初は「楽しい」「かっこいい」としか思っていなかったが、様々なワークショップなどに参加して、その思い

- の深さを感じ、現在も、クリスチャンではないが、神様に対する思いが変わってきている。存在すら全く信じていなかったが、歌っている時に「このパワーや楽しさはどこから?」「自分はなんでこんなにのめり込めたのだろうか?」と何かを感じている。
- ・ゴスペルの本当の意味を知った。琴線に触れて涙が出た。以前に比べて、声が出るようになった(発声法が変わった)歌詞が全て聖書からつくられていて、一貫したすごいメッセージ性のあるものだった。
- ・気持ちが前向きになったこと、声がでるようになったこと、なにより救われたこと!同じクワイアで救われた人と結婚できたこと、全く人生が変わりました。
- ・明らかに声が変わった。ワンボイスになった時のなんともいえない鳥肌がたつような自然に涙が出るような気持ち。
- ・あたりまえですが、ゴスペルは神様を賛美する歌なのでキリスト教とは切っても切れない関係です。けれどもはじめは宗教については、あまり考えていませんでした。いまは、歌の意味や歌詞を考えながら歌うようになりました。
- ・神様を賛美するのに、宗教は必要ないんだということを見発。
- ・神様って絶対いるって思った。相手への感謝の気持ちを素直に表せるようになった。
- ・スクールに入る前の見学の時もそうでしたが、聴いたり歌ったりしているとなぜか涙が出てくることがあります。これはゴスペルでしか得られない感覚です。あとは自分は生かされているんだということ、神様がそばにいて一人ではないんだということ。
- ・クリスチャンになる気はないが、神様の事を、自然に少しずつ知ってきましたよ。

**生活の中の感じ方や考え方が変わってきたかも。ゴスペルを歌うことで元気になる。自分に自信が持てる。などなど。**

いるんなことが変わってくるようです。おなかへつこんだ人から面接試験を乗り越えた人まで(笑)。とにかくポジティブになっていることだけは間違いない。誰の中にもある素晴らしい部分が引き出されたり、自分が好きになったり。人って解放されるとすごい力を発揮しますね。

・心に喜びと、平安が与えられた。私の魂も古い時代の黒人霊歌を歌うとき、その辛い生活の中であっても神さまをもとめずには居られないほど迫害されても、

**ゴスペルの本当の意味を知る。神さまについて考える(感じる)ようになる。ONE VOICEの感動を知る。**

これはすごいことです。歌う前には、「ゴスペルが神さまを賛美する歌だ」ということに不安を覚えていた人の多くが、「涙が出た」、「神様って絶対いるって思った」、「相手への感謝の気持ちを素直に表せるようになった」、「祈るようになった」と答えたりするのです。これは僕らが思っている以上に、「ゴスペルを歌う」とそのものの中に、宗教とか教義とか宗派とかでない、我々を遙かに超えた大きな存在、または神さま(何と呼んでいるのでもないけど)を、その愛を、肌で感じる力が存在する(「ゴコロも開かれているのではないですか、体いっぱい歌って、「ゴコロも開かれ僕らをこつて生かして、今日も歌わせてくれてる存在に感謝する」とそれがゴスペルであり、そのことを頭ではなく、体とゴコロでわかるという点が何よりも素晴らしい)。そういうものこそが人の中にリアルに残ります。

- 感謝し褒め称えて居るのを見るとき涙があふれてすごく感動する。
- ・かなりネガティブな性格なのですが、ゴスペルを歌うことで回復が早くなった(笑)
- ・ゴスペルって言われているものが、イメージでしかなくて、神様を賛美する歌なんだってことがシンプルに一番響きました。
- ・もともと「どうせ自分なんか…」といじけることの多い私が、少しだけ、自信を持てるようになった。自分も神様に愛されているんだ、ということが実感できた。一番の宝物は「仲間」なんだ、ということを感じることができた。
- ・仕事で疲れていても、歌うと元気になって疲れがふきとびます。
- ・自分で歌っていてこんなに心が動かされるものなのかと驚いた。先生が歌うゴスペルのように心から身体中から湧き上がるような力はどこから出てくるのか、歌詞の裏側にあるものは何なのかを知りたいと思うようになり少しづつキリスト教を学び始めた。最初は入り込むのが恥ずかしくて自分の感情を抑えていたところがあったが、今は恥ずかしさはなく逆に思い切り歌うことで満たされた晴れやかな気持ちになれる。
- ・私は今でも無宗教ですが、何かを信じる事のすばらしさを再発見しました。
- ・歌う人すべてのエネルギーが一つになったときの力に驚きます。
- ・涙がとめどなく出てきて、かえってかっこつけてとかっこ悪く、思いのままに歌ったほうがいいことを感じた。
- ・初めはみんなとの統一感のようなものがうれしいだけでしたが、のめりこんでいくうちに歌うことで自由になれる祈りのようなものを感じた。これはただの音楽じゃないと思った。
- ・ますますゴスペルにPowerや癒し、そして祈りをこめて歌いたくなった。
- ・単に歌が好きだから歌う事だけで始めたが、歌一曲一曲に希望や祈りが込められているんだという事が分かった。
- ・お腹がへこみました。声がはきはき大きくなり、そのおかげで就職の面接試験はクリアできました。チームワークが重要である事を思い知りました。

実際にゴスペルクワイアに参加して歌い始めてみて、  
驚いたこと、発見した、変わったことなどが  
あれば教えてください。Q 13

「楽しい!ストレス解消!リズム感が良くなった。人前で歌う快感を味わっています。声の音域が広がってカラオケが上手く歌えるようになった」

- ・同じものに共感できる友達と共に歌えることが何よりも嬉しく、楽しい。
  - ・自分が思ったよりゴスペルは難しかった!そして自分の歌の下手さを再認識してしまったのが悲しい。でも、ゴスペルが日常の楽しみになりました。
  - ・純粹に楽しい音楽であるという事。歌詞の意味は神を賛美しているけれど、それを自分の大切な人や事・物に置き換えて、自分なりに解釈ができるようになった気がする。クリスチャンじゃなければ歌えないという音楽ではないという認識が変わりました。ゴスペルを通じて色々な人と出会えたことも大きな変化です。
  - ・唄う人によって全然違うものになる。みんなで息を合わせるの難しい。でもむっちゃ楽しい!
  - ・歌う声が大きくなった、子供がおなかにいるときから歌っているので子供もとても音楽が好きみたい。
  - ・クワイアに男声が少ないと迫力がでないことが分かった。男声と女声のバランスがよいと、地の底から湧きあがるようなダイナミックが音が出る。女声が多いクワイアが多いと思うので、今私が所属しているところは貴重だと思っている。
  - ・自分の声に対して知らない事・わからない事が、おぼろげながら見えってきた。
  - ・30代だというのに友達がどんどん増え楽しい毎日を送っている。感謝の気持ちを素直にあらわせるようになった。ひどく落ち込まなくなり健康的になったと思う。
  - ・想像以上に、たくさんひとと歌うのが楽しかったです。また、学校で習う合唱よりも、社会人の習い事で制約もなくのびのび歌うことができていないかと思いません。体を動かすことよりストレス発散度は低いかと思いましたがとんでもなかったです。大きい声をだして歌うことって思ったよりもストレス発散できるんですね。
  - ・ゴスペルを歌うことはカラオケをするのとは声の出し方が全く違う。体力を使うんだな一と思った。
  - ・リズムに合わせて体が動くようになったこと。声の出し方が大分変わった。英語の発音がよくなったかもしれない(笑)
  - ・歌詞に勇気付けられ、人々と共に歌うことから一体感や楽しさを覚え、心の奥から躍動感のようなものを感じた。
  - ・クワイアとしてイベントに参加した時、滅多に感動しない自分が、歌っただけで感動してしまった事に驚いた。
  - ・ゴスペルがこんなに体育系だとは思わなかった。どんなに疲れている時でも、歌い終わったあとは、心からリフレッシュされ、幸せな気持ちになっている不思議なパワーを感じる。
  - ・体全体で音楽を楽しめること。賛美歌として、こんな表現があるのかと感じたところ。
- 歌う事の気持ち良さを知る。同じものに共感できる友達と共に歌えることが嬉しく楽しい。**
- これこそゴスペルの大きな魅力ですね。そしてクワイアの中で歌うということとは人々と声を通してつながることでもあります。そうしたつながりも現代の都会では貴重なことかも知れません。自由すぎて最初は戸惑う人も、面白いね。
- ・ライブで歌うことがあんなに楽しいことは知らなかった。友達が増えた。
  - ・歌を歌う人の気持ちが変わった。歌を歌うのが好きというのを、目立ちたがりだと思ってる人がいるけど、そうじゃない。って。ほんまに好きなんやな。あと、ほんとに音符をよめることと、歌うことって、ちがうんやなあ。ということ。
  - ・普段できないことを体験、実感できる。おなかから声を出すことの開放感。クワイアのメンバーと声が重なるときの鳥肌ものの感動。
  - ・歌っていても、感情が入り、ジーンとしてしまう。
  - ・音がずれてもそれがハーモニーの厚みになると塩谷先生がおっしゃってくださったことに目からウロコが落ちる思いがしました。それからは声がだせるようになり、結果的に歌がすこしうまくなったように感じます。
  - ・驚いた(発見した)事は歌って全員で歌うもんならだて事。変わった事は、教室でいつも元気をもらってるので、歌に限らず、仕事と他の事も前よりがんばらうって思えるようになった気がします。時々忘れちゃうけど。後、お腹が少しへこみました。(腹筋使うから?)
  - ・大きな声を出してみんなで歌うということにかなりの喜びを感じました。カラオケで一人で歌うよりも楽しいです。
  - ・「ゴスペル」の意味もほとんど知らないまま参加したのですが、その歴史を知っていく中で、夢を持つことや感謝することの大切さを改めて感じています。
  - ・大勢の人の中で大声を出して唄える自分に驚いています。
  - ・最初は楽譜がないこと、パート分けがあいまいなこと、アレンジがすぐ変わるなど色々驚いていたが、途中から慣れて楽しんで歌えることが一番!と思うようになった。
  - ・歌うことがますます好きになった。歌(音楽)の力ってすごいと思った。意外と体力を使う。
  - ・何しろ楽しい!大声で歌えるのできもちがイデです。

・まず、先生の歌がすばらしい。クワイアもまとまっており、心をひとつにして歌える。そして、歌が上手ーい！  
・先生の導きが素晴らしいので、上手・下手を気にせず、素直に声を出せること。素直になれる。

- ・何よりも指導者のカリスマ性、指導力とユーモアのあるあたがい人柄。そしてそれを反映したクワイアのメンバーのあたたかさ。
- ・素晴らしい先生とピアニストがいる！どこのクワイアでもそうだと思いますが、性別・年齢・職業など様々な人達が集まって何か1つのことをするのってとても素敵なことだと思うし、とても刺激をうけることができる。うちのクワイアの場合。男性メンバーが極端に少ないので(いない時もある)「女子校の音楽の授業」的なワイワイ過ごせる雰囲気も楽しくて好き。
- ・先生の話、歌詞の説明がとてもわかりやすく自然に心に入ってきて共感できるところがたくさんあり、またみんなで声をひとつに合せて歌えたときの一体感がとても素晴らしいと思う。歌は頭でうまく歌おうと考え方からではなく心を開放して心から歌うということを感じさせてくれるところが好き。
- ・指導してくださる先生がすばらしい(選曲がよい)
- ・先生のテンションの高さ&ピアニストのノリの良い演奏にクワイアがついていこうと頑張っているところ！
- ・先生に共感できる部分がたくさんあり尊敬できる。とにかく楽しい！！

### 先生、指導者、ディレクターの魅力。

やはりディレクターの存在はとて大きいようです。クリスチャンが少なく、ゴスペルが文化として根付いてない日本では、より指導者の資質が問われているのかも知れません。でもこれ読むとディレクター冥利につきるなあ。

- ・先生の人柄、人を惹きつける吸引力がみんなを一つにまとめる、楽しんでできること。
- ・先生だから...このクワイアがあるのかも知れない。
- ・自由で楽しい！先生はすごく面白い人。自然体で心に壁の様なものが無い人だからでしょうか！?
- ・先生のトークがとても楽しく、ゴスペルの良さを思いっきり伝えてくれるところです。
- ・うちの先生=ディレクターがすばらしい！カルチャースクールといっても教会でうたっている人たちと同じくらい気持ちが入っています。病院や学校など機会があればどこへでも行って歌ってます。
- ・講師の先生がフレンドリーで親切でゴスペルの言葉の意味を教えてください。仲間は皆、まじめで真剣で優しい人たち。
- ・黒人女性が先生で本格的。発表する機会が多い。
- ・教材の曲が良い、先生のキャラが憎めない、ライブの機会が多い

### 歌っただけでなく、深くゴスペルを知り、感じることができ。神さまを賛美している。

- ・歌詞の意味をとて大切に、それを心から感じて伝えようとするところ。
- ・気持ちが沈んでいたり、悲しいことがあっても、みんなと一緒に歌うとパワーをたくさんもらえる。へとへとに疲れていても「よし！」って元気になれるところが本当に素晴らしい感謝しています。
- ・まさに sisters and brothers! (残念ながら Brotherはいないので...) のびのびと会ったその時から仲間そのもので、新しいメンバーの受け入れ体制も万全。リーダーシップのある人、事務的な雑用をきちんと引き受けてくれる人、また、そのことへ誰もが感謝の気持ちを忘れないこと、とてままりがあり冗談や軽口がとびがけ、笑いが絶えないこと。

奉仕(サービス)という言葉。サービスは神さまを礼拝するという意味から来ています。ゴスペルは神さまを礼拝し、感謝し、賛美をする音楽。そこへ自然に向かい、そのことを大切にしているクワイアがあります。みんながこうでなくてはゴスペルを歌ってはいけないということではありません。白か黒かではないのです。信じるといふことは、自分の力ではできないものです。だからこそ感謝。

- ・ゴスペルのあるべき姿や感動を味わえる。クワイアで歌うことで人との触れ合いを大事にできる。とてまとまりがある。ゴスペルを離れたところでも集えて仲間や友達がどんどん増えていく。
- ・みんなが真剣に練習に取り組み、歌詞の意味を理解し、ただ歌うだけでなく何かを伝えようとする姿勢があるところ。
- ・ノンクリスチャンがほとんどだけど、みんな神様をリスペクトして歌っている。
- ・音楽としてゴスペルを歌うだけでなく曲の持つメッセージを伝えてもらえるところ。
- ・本当に歌詞の中身を理解して歌おうとしているところ。
- ・楽しんで歌っている、神様中心にしている。
- ・教会で行われていて、本当の神様を賛美しているところ。
- ・チームワークがよく！神様の存在をちゃんと教えてくれるところ！
- ・神様に焦点をあてて、真剣に取り組んでいること。ノリでごまかさないところ。
- ・みんな神さまのための奉仕と思っていて、なおかつ楽しんでるところ。
- ・教会のクワイアだけあり、信仰によってみんなの心が一つになって賛美をささげる事が出来るところ。
- ・ディレクターがたくさん居る。それぞれが個性的で、とても魅力的。歌も上手い。質沢すぎる。ゴスペル始めてからクリスチャンになった人。メンバーにクリスチャンも居るが、ノンクリスチャンのOLやサラリーマンや小学生まで、皆受け入れられる雰囲気。一緒に心からの賛美を歌ってるの。

## あなたの参加しているゴスペルクワイアのすばらしいところ、好きなところを教えてください。

Q 14

「みんなが楽しく歌っている。ファミリー。一体感。読んでるとうれしくなってきましたね。仲良く楽しく誠実に自由に。ゴスペルは基本的にとてもオープンなものだということがひしひしと伝わってきます。」

- ・ Familyという感じ。ほかのクワイアにも参加し、賛美をするのはいつでもすばらしいと思えるが、自分のクワイアはホームと実感できるほど安心する。
- ・指導者サイコー。仲間もサイコー。
- ・団結感がある。何よりもみんなでひとつになって、年齢、職業、性別関係なくみんなで楽しめる。
- ・皆元気。どんな状況下でも全力で歌えるし皆の歌声が一つになったときのパワーはすごい。
- ・アットホーム！
- ・先生を含め、みんなが楽しく歌っているところ。
- ・いい意味でテキトウなところ。
- ・何事もメンバー全員で話し合っ決めて決めること。メンバーの笑顔。
- ・ディレクターの曲、メンバーの人柄、一つの音になったときのすばらしさ。
- ・仲が良いところ。真面目なところ(笑) 決して上手いとは言えないですが、『独特の暖かみがある』と聞いて下さってる方々からお言葉を頂戴しております。すぐにくじけてしまう私が歌を続けられているのは、このメンバーのお陰だと思っております。
- ・テクニックを追求するのではなく、みんなが心で歌っているという感じを持つところ。
- ・本当にみんながゴスペルを愛し、メンバーを愛し、そして周りのみなさんに感謝していること。今のメンバーに出会えて本当に幸せだと思ふ。
- ・One of All, All of One 互いに思いやり、喜びも悩みも分かち合える心強いメンバー。
- ・自由で、楽しくって、仲良くって、ダメなところは指摘し合える所。まだまだあるな・・・
- ・お互いの事を何も知らなくても歌う時は一体になろうとするところ。
- ・細かい事にこだわらないところ。仕事帰りのまったりとした雰囲気も、自分の気分とギャップがなく、気が楽です。
- ・女の子ばかりですが、明るくてすぐ1つになれるところはすごい。(男性1人でちょっとかわいそう)
- ・堅苦しくなくて「間違えてもOK!」みたいなところ。みんな楽しく歌っているところ。
- ・普段全く顔を合わせる事のない皆と、先生の指揮で一つになれるところ。
- ・年齢層に幅があるのに、結構まとまっているところですかね。
- ・一緒に歌っている仲間、私達より早く始めている先輩方、そして先生を取り巻く他のクワイアの方々。全てがすばらしいです！大好きです。
- ・カルチャーセンターでのクワイアなので、いろんなベクトルの人がいるけど、皆、歌が好きの人達が集まっている。月2回だけで寂しいが、先生がピアノを弾いてくれるながら教えてくれ、音楽の楽しさと、難しさを伝えてくれる。難しさにうなっていると、周り

- の(同じクワイアの)友達がいるいとと助言、励ましてくれる。
- ・ 20代~50代のメンバーが楽しく、いい意味でまじめに歌えるところ。
- ・ 真剣に振り下げてやってる方々には申し訳ないですが、自分たちが楽しんでいます。他の人々を救うのは力不足なのでとりあえず自分を救っているという感じです。
- ・ メンバーがみんな優しい。楽しい。ノリがいい(ダンスもするのです) 自由(おきたいこと言いません)、音楽的なレベルアップにもかなりこだわる。
- ・ みんなで作り上げていく楽しさを、しんどさを、1人1人が知っているところ。それと、ピラミッド型のクワイアではないところですね。キャリアやプライド、年齢に関係なくみんなが尊敬するココロを持って、向き合っています。
- ・ 1人1人大切にしている。お互い尊敬している。団結力がありみんなが助けあう。ゴスペルを楽しんでいる。愛がある。
- ・ それぞれ個性的で、ゴスペルメンバーといくと元気がもらえて楽しいところ。
- ・ 大所帯になりましたが、年齢差を感じずに楽しんで歌える事が好きです。
- ・ メンバーが仲が良い！技術的にはまだまだかもしれないけど、一緒に歌うのがとても楽しい。
- ・ メンバー1人1人で自主運営していること。性別・育ってきた環境・考え方・信仰・年齢...さまざまな人たちが「一緒に歌いたい」というシンプルな気持ちで集まって、お互いを尊重しながら心をあわせて歌っていること。利害関係一切ナシ。
- ・ ひとりひとり自由に心から歌っている。
- ・ 好きなもの同士、気の合う仲間同士、心の通うおつき合いをしているところ(ゴスペル以外でも)
- ・ クワイアの皆が人を思いやる気持ちを持っているところ。励ましの中に賛美する心を増す働きをしてくれる。

「みんなが心をつとめて歌えるところ。1人1人と気持ちが解放されるんです。」





・心や体ががちにこり固まっても歌うことによって解きほぐれる。なにより、楽しい。  
 ・自分のソウルが叫びだすところ。癒される。開放される。  
 ・言葉でうまく言えないけど、歌っていると毎日の生活でいやだなあと感じる事も、頑張りうと前向きに思えるところ。それも、無理やり引っぱった糸みたいな感じではなく、肩の力を抜いたような自然な感じで、歌っていると自分が素直になれる気がする。自分が自分らしくなれる気がする。とにかく楽しい！  
 ・歌うと優しい気持ちになれるし、いいパワーを一杯もらってる。  
 ・歌っていると不思議と力が湧いてくる。一人では味わえないことだと思います。

・もともとsoulやR&Bが好きだったので違和感なく入りました。どんな状況下におかれてもくじけず、前を見て必ず明るい未来がやってくると力強く進んでいく、という意味合いを持っているところに惹かれます。音楽自体にもの凄いいPOWERがあり、歌を聞いたり歌ったりすると、落ち込んでいたりしても元気になる。皆が平等であるということ。  
 ・とにかくエネルギーを感じる。素直に歌えるところ。楽曲がかっこいいところ。  
 ・体の奥に響いてくる感じのするところ。頑張りうという気持ちになれるところ。  
 ・歌詞が英語で、意味が100%理解できなかったとしても、大きなパワーを感じられるところ。  
 ・体中の細胞の1つ1つが生き返る様な感覚を味わえるところ。元気になる。この先ききといひ事が待っているんじゃないかって、なぜだか思えてきてわくわくします。理由もなく涙が出てくることも好き。  
 ・人も癒すことができるが、何より自分自身が解放されて癒されること。  
 ・歌うことで、自分の気持ちに素直になれること。  
 ・心にしみ、パワーをもらいます。  
 ・歌っていると、すべてが解放され、今まで頭で堅く考えすぎた事や、こうでなければとか思っていたことが、もっと素直にストレートに心で感じられるようになり、快感や幸福感を感じられるところ。  
 ・精神的に辛かったり、体調があまり優れない時でも、歌っている時はあまりそれを感じない。元気になる。  
 ・とにかくポジティブな気持ちにしてくれるところ。  
 ・愛を感じる。ゴスペルに出会って感謝することを覚えた。これまでのすべての出会いや、感動はゴスペルなしにはなかったらどうかな・・・自分のさまざまな感情をよびおこしてくれるような気がする。こんなに真っ直ぐにいろんなことを感じられるようになったのは、ゴスペルのおかげだと思う。

・やっぱり歌詞かな。みんなで賛美も出来るしゴスペルを通してみんな一つになれることかな。  
 ・ハーモニー・音楽の雰囲気・歌詞の内容・・・聴いても歌ってても楽しい。  
 ・ハーモニーです。あと大勢で同じ曲をうたう。自分ひとりではあんなハーモニーはできませんので・・・。ゴスペルの曲がかっこいい。  
 ・単刀直入に、神様に感謝したり、語りかけたがりという、その歌が好き。歌詞はあとから意味が徐々にわかってきてさらに感動するけど。その前に、歌ってい

・われを忘れて無になれる瞬間があるところ。  
 ・ラブ&ピースなところ。  
 ・歌っていて、感謝できる。癒される。満たされる。楽しいところ。うれしいところ。みんながひとつになれるところ。バランスがとれる。こんな要素をすべて兼ね備えている音楽は他にはないと思う。  
 ・どんなに心傷つくことがあっても、身体が疲れているときでも、歌うことでまた新たに癒される。力を得ることができるところ。本当に実感できます。また、集まる人々のこころも優しくしてくれる。  
 ・魂の解放の音楽であり、歌詞にもメロディーにも力があると感じるところ。歌っていて自分も聴いている人も励まされる。いろいろな曲がありますが、明るい曲、静かに訴えかける曲、それぞれの曲が自分の人生におけるいろいろな局面で力を与えてくれるところ。  
 ・人を癒す力がある。ある時は慰めてくれるし、勇気を与えてくれる。歌っているだけで力がわいてくるし、聞いた人にもその力を与えることができる。  
 ・他のジャンルの音楽は基本的に「自分を見て！」という感じで歌っているように思うが、ゴスペルは上に向かって歌えるところが何よりもいい。  
 ・癒される。元気になる。自分の素直な部分「感謝する」等という素直な部分を、思いっきり大声で出せるのが、嬉しいんだと思う。  
 ・歌っていると元気になる。他のクワイアが演奏しているのを聴いて、感動したり、勇気やパワーをもらえるところ。  
 ・元気になる。疲れて練習を休もうかと思っても、行って歌うと練習前より元気になる。不思議。会社じゃないので皆が損得勘定なしに人と関れる。リラックスしてるのがわかる。

る人の気持ちもこればもっとつたわる。  
 ・人間の声の力、素晴らしさが最も表れている音楽だと思う。メンバーの声がきれいにハーモニーとまとまってきたときに、ものすごい感動を覚える。1つのものを多くの人が一緒に作り上げていく作業。ゴスペル以外にもあるけれど、この感動を体験するとなかなかやめられない。  
 ・コール&レスポンス、スピード感。

**元気になれる。癒される。力が湧いてくる。満たされる。**  
 これはゴスペルを歌っている人なら身に染みてわかることですよ。僕のクワイアでも、みんな仕事帰りに集まってきて、疲れてると思うんだけど、帰るときには顔が開いてるといって、輝いてるもんな(笑)。

**その他としては**  
 神さまを賛美できる。ハーモニーと歌詞、などなど深い意見がいっぱい。

# あなたはゴスペルのどんなところが好きですか？ Q 15



・どうしてかはわからないが、楽しいし、気持ちいいし、感動するから。  
 ・声を出すのがとにかく気持ちいい。  
 ・みんなであいっけい言いが歌えるところ。  
 ・とにかく楽しい。感動する。  
 ・余計なことは何も考えず没頭して気持ちよく歌えるところ。  
 ・思いっきり気持ちを込めて歌い上げられるところ。多少声が悪くても、高いとこが出なくても大丈夫なところ。  
 ・何より第一に自分たちが楽しむ事を大切にしているところ。  
 ・思いっきり歌える。壮快感がある。  
 ・自由に身体を動かしながら、大勢でハーモニーを奏で歌う所。  
 ・学校で強制される「首をしめられたにわとり」のようにでなく、楽に歌えるところ。私に合っていると思いません。ただ、日本では黒人の方々のようにはいきませんね。  
 ・身体全身で歌うこと、歌い方が自由なこと(手足の動作が自由なこと)  
 ・リズムにからだを任せられるところ。昂揚感が得られるところ。聞いてくれる人も一体感を持つところ。  
 ・人々に感動を与えられるところ。自分自身も辛い時に救われている。また、盛り上がりのある曲調が好き。  
 ・開放感と一体感。いろいろな人とゴスペルを通して集まれる事(歌う人も聞く人も)、音楽とリズム。一つの曲でいろいろな音楽がそれぞれのクワイアから生まれるところ。  
 ・迫力があって心に響くところ。  
 ・メロディの良さ、魂を感じさせるところ。  
 ・歌詞の意味の深さ。英語など、言葉がわからなくても聞いてる人の心に響くところ。歌っている側も、何ともいえない感動がある。単純な歌の上手さではないというところ。  
 ・聞いているだけで、胸が熱くなる。ところ。  
 ・有名なゴスペルクワイアのCDを聞いても、自分が歌っても「気持ちよく」なれるところ。  
 ・エネルギーがあるところ。シンプルで伝わりやすく、だからこそ心に響くところ。  
 ・みんながひとつになっているという一体感。  
 ・唄っている時に感じられる高揚感、何か目に見えないものとつながっている感じ、メンバーとの一体感。  
 ・みんなの空気を感じながら歌える。一人じゃないんだ。ってところが好きです。  
 ・メロディや歌詞も好きですが、それをみんなで歌えるところが一番好きな理由。  
 ・良質の楽曲が多い・歌に感動する 人の弱さや強さ、ありのままの姿を感じる。  
 ・みんなで歌っているという一体感を実感して、幸せな感じがするところ。ニコニコと楽しそうな顔がみれるところ。  
 ・理屈抜きで歌える。それぞれ違う人同士でハーモニーを

作り上げる楽しさ、その達成感。神様を賛美できる。  
 ・歌う人も聞く人も両方を分け隔てなく喜ばせてくれます。自分のために歌いながらも、同時に他の方にも楽しんでもらえるところかな。  
 ・歌っていると素直なところ。また、とても上手な人の歌を聞くと涙が出る。そして泣く事の出来る自分に少し安心する。  
 ・思いっきり声をだせる。ハモる楽しさ。音楽としての質の高さ。  
 ・楽しくて、パワフルで、自由になれるところ。  
 ・心と、体いっしょに響かせ、震わせ、皆と共に共鳴することが出来ること、皆とともに、幸せを感じられること。  
 ・年齢も性別も国も関係なく、自由に楽しく歌えること。メッセージを伝えられること。そしてみんな元気になること。  
 ・大声でみんなで楽しく歌うとストレスが発散される。歌詞もよく理解しようとする、なんとなく救われる気がする時がある(信者ではないけれど)  
 ・楽しいところ。みんなで楽しめる。簡単に入ってこれるところ。  
 ・思い切りお腹から声を出しているとストレス解消になる、とともに、みんなで作り上げた歌声が聞いている人たちも楽しい気持ちにさせることができる。ところ。  
 ・とてもリズムカナルでみんなと一体感がある。心の底から楽しい。日常のイヤな事を神様がすべて洗い流してくれる事。  
 ・みんなで歌い、そして一つの歌になれるところ(練習しないと難しいけれど...) 外国語なので、単語を調べて、かえて言葉について考えられるところ。そしてその言葉に「がんばらな〜」と思え、またメロディーで楽しくなったり、何か心に伝わったりするところ。  
 ・みんなで歌うことの喜び・楽しさ・素晴らしさ。  
 ・どんな人でもクワイアに来たら同じ感動と喜びをもって賛美することができる。これが「ひとつになるということね」という感動があるところ。  
 ・感動できる。感動を与えられる。人の生き方や人生観まで変える力を持っているところ。  
 ・歌詞に含まれる意味が、心を打つから。本物のゴスペルは、力強く感動できるから。

**楽しい。気持ちいい。感動する。癒される。自由。一体感。**  
 楽しい。これ一番わかりやすい。ゴスペルはわかりやすいんです。  
 「歌いながら、格好ではなく、心から自分に素直になり、叫ぶことが出来ること」  
 心を開く事が、こんなに楽なことなのか、と気づけること」





# Q 17

あなたの好きなゴスペルシンガー、  
アーティストがいれば名前を教えてください。

これはKirk Franklinのぶつちぎりです。やっぱりみんな好きなんだね。それなのになぜ、大阪と福岡のブルーノートでしかライブできないんだらう(笑)。その後は順当といえば順当なラインアップ。コンテンポラリー・ゴスペルのアーティストがずらりと並ぶ中、アレサ、マヘリアはしっかりと食い込んでいます。日本人ゴスペル・シンガーに関しては、私がトランプでお恥ずかしい限りです。インチキではありませんが(笑)。全国すべてのクワイアにアンケートに答えていただいたわけではないので、ご回答くださったクワイアのカラが多分に影響しています。個人的には、自分のクワイア以外の方が僕の票の半分を占めていたのですね。

- 1 Kirk Franklin 62票
- 2 Aretha Franklin 25
- 3 Hezekiah Walker 23
- 4 Kurt Carr (Kurt Carr Singers) 19
- 5 Yolanda Adams 13
- 6 Mahalia Jackson 12
- 7 John P. Kee 11
- 8 Fred Hammond 8
- 9 O'Landa Draper 7
- 9 Richard Smallwood 7
- 10 Donnie McClurkin 6

日本人アーティスト	KIKI 6	TAKAKO
塩谷達也 40票	亀淵友香 5	Zooco
Spiritual Voices 21	山本真一郎 4	兼松弘子
西村あきこ 11	Jaye 公山	MORE
Ronnie Rucker 9	(Jaye's Mass Choir) 3	上原玲子
綾戸智絵 7	岩淵まこと 2	久米小百合
小坂忠 6	国分友里恵 2	マレ
	KIITOS 2	COCORO*CO
	弓削礼子	向日かおり
	HIRO	藤崎恵美子
		新垣強

Brooklyn Tabernacle Choir 5	Graham Kendrick	Holy Trinity Choir
Ron Kenoly 5	Rev. James Cleveland	James Hall
CeCe Winans 4	Donald Lawrence 4	Judith McAllister
Mary Mary 4	Take6 3	Lindell Cooley
BeBe Winans 3	Edwin Hawkins 3	Michael W. Smith
Lauryn Hill 3	Lena Maria 3	Mississippi Children's Choir
Hillsong 3	Sounds of Blackness 3	Otis Redding
T.P.W. - Thanksgiving	Praise and Worship 3	Patti LaBelle
Steven Roberts 3	Clara Ward 2	Ray Charles
Angela Spivey 2	Byron Cage 2	Ricky Dillard
TUCK & PATTI	Kim Burrell 2	Richard Hartley
Five Blind Boys of Mississippi	Paul Robeson 2	Youthful Praise
Deniece Williams	R. Kelly 2	THE STEELES
Lamar Campbell	The Staple Singers 2	Tramaine Hawkins
Norman Hutchins	Tri-City Singers 2	Sheryl
Willie Mae Ford Smith	Walter Hawkins 2	Sam Cooke
Albertina Walker	Whitney Houston 2	Oleta Adams
Commissioned	Clark Sisters 2	Alvin Slaughter
オンギジャンイ (韓国)	Andrae Crouch	Blind Boys Of Alabama
Vineyard	Bob Dylan	Provenance
LimitX	Bob Marley	Kenny Bobien
Susu Bobien	Butch Heyward	Milton Brunson
Marion Williams	Carol Gadsden	Daryl Coley
Acappella	Curtis Mayfield	Destiny's Child
ametria	Don Moen	Donny Hathaway
MIGHTY CLOUDS OF JOY	Doris Troy	Elvis Presley
SPEECH	Ginny Owens	God's Property
London Community Gospel Choir		The Boys Choir Of Harlem

あなたが今まで歌ったゴスペルの中で一番好きな歌を1曲だけ教えてください。よろしければその理由もお聞かせください。

# Q 16

自分かと思っていたゴスペルの印象がいちばん近かったし、コーラスの聞かせどころが多いから。元気がでてくる。単純明快そうで奥が深い感じ。誰もが知っているし、歌いやすくノリやすい。一番、盛り上がる事が出来るので。歌っている方も聞いている方もひとつになれるから。ハッピーな感じになれる。一番最初に感動した曲だから。もう何十回と歌ってきたが、歌う度に魂が揺り動かされ力が湧いてくる。必死で練習して歌えば歌うほど、心がどんどん喜びにあふれていくのを感じるから。

## 1 Oh, Happy Day 26票

- ・自分が思っていたゴスペルの印象がいちばん近かったし、コーラスの聞かせどころが多いから。
- ・元気がでてくる。単純明快そうで奥が深い感じ。
- ・誰もが知っているし、歌いやすくノリやすい。
- ・一番、盛り上がる事が出来るので。
- ・歌っている方も聞いている方もひとつになれるから。
- ・ハッピーな感じになれる。一番最初に感動した曲だから。
- ・もう何十回と歌ってきたが、歌う度に魂が揺り動かされ力が湧いてくる。
- ・必死で練習して歌えば歌うほど、心がどんどん喜びにあふれていくのを感じるから。

## 2 My Life Is In Your Hands 25

- ・曲と歌詞の美しさ。心に浸みるメロディーが好き。
- ・泣きそうになった。初めて聞いた時に涙が出ました。
- ・行き詰まったときに、いつも支えてくれる歌です。
- ・メロディと何が起ころてもくじけない歌詞。
- ・歌詞を日本語に変えて歌っています。いつも歌うたびに感動して涙腺が緩みます。
- ・いやされたり、元気がなれたりするから。
- ・いつも聴いて元気が勇気をもらっています。心配性の私ですが、どんなことがあっても大丈夫!と思えるようになります。
- ・歌詞が好き、落ち着く。
- ・歌っているだけであたたかい気持ちになる。

## 3 Amazing Grace 23

- ・友達を病気で事故で焼けて亡くした時この曲を丁度歌っていて、きっと幸せな人生で今もこれからもきっと幸せだと思って思わせてくれた曲だから。
- ・詞がとても奥深いので。
- ・なんとなく聞いていた曲を歌えるようになり、口ずさんでいる。
- ・世界中で最も有名だと聞いて、歌詞を聞いて確かに素晴らしいと納得したから。ゴスペルを知らない友人に紹介したら素敵なお曲だねと言われたから。
- ・有名な曲ですが、深いんですよね。誰でも一度は聞いたことがある曲だと思います。
- ・ベタですが、まさに私の人生も不幸の中で神様に救われた様な思いをしたためです。
- ・歌詞の内容にエンパワーされます。
- ・心にじわっとしみる感じがします。なぜか涙がでそうになり

ます。メロディーの美しさが好きです。シンプルなメロディーだけれども実はとても難しく、ハーモニーが綺麗に重なるのがなかなかうまくいかない。それだけにぴったりであった瞬間は感動。以前から好きな曲だったけれど、この曲ができた背景には、多くの歴史があったことを知り、ショックを受けた。そしてもう一度、歌詞を読み、歌ったら涙が出そうになった。すごく奥が深い曲だと思う。これぞゴスペル? なにか映像が浮かびます。

## 4 Make Us One 17

- ・一体感がテーマの私にとって、心や声を「一つにする」という歌詞は自然に気持ちがこもる。初めて泣いた曲。
- ・みんながひとつになりましょう。王様も奴隷もありません、同じ赤く熱い血が流れてる人間なのだから心はひとつになれるはず...この歌にある大きな愛のメッセージが好き。
- ・この曲を知ったとき、自分の中のゴスペルに対する考えが変わりました。ほんととみんながみ合うことなく、一つになればどんなに素晴らしいことでしょう。素敵です。

## 5 Total Praise 13

- ・出だしのハーモニーの荘厳さ。無条件に好き。
- ・みことばの土台がある。しかも大好きな詩篇121篇。メロディーも構成も感動的。涙なしには歌えない。
- ・とてもシンプルにそして心から神様へ賛美できる曲。
- ・歌っているときに気持ちがどんどん高まっていき、なんだかすごく気持ち良くなる。

## 6 Silver And Gold 12

## 7 Joyful Joyful 9

## 8 Why We Sing 7

## 9 His Eye Is On The Sparrow 6

## 9 Deep River 6

## 9 I Need You To Survive 6

This Little Light Of Mine	We Fall Down
In The Sanctuary	What To Come
I'm Available To You	How I Got Over
Jesus Is The Answer	How Much We Can Bear
There's A Praise	I am The Way
Having You There	
The World's Greatest	*ここまでの曲で計204人
Calling My Name	が選曲
Lean On Me	
Lift Ev'ry Voice and Sing	
Now's The Time	



# 19 「ゴスペルを歌っていて、よかったな」と思うのはどんな時ですか？

- ・ゴスペルを通してたくさんの人と知り合うことができたこと。
- ・多くの仲間達とよきこびを共有できた時。
- ・時々歌っている時に、なんかわからないけどものすごく心が動いて大好きな人たちの顔が浮かんでくる時があります。そんな時自分がこうして楽しい毎日を送れるのもその人たちがいてくれるからだなあと思えます。
- ・会社以外の友人がたくさん増えた事。
- ・先生やいろんな人と出会って共有する時間が持てたこと。
- ・今まで見ず知らずの人達が、このスクールを通して知り合い、一つの曲を歌うことを通して一緒にいかに成し遂げたという達成感を味わえる。
- ・歌う場を発見できたこと。楽しい仲間と出会えたところ。先生に教えてもらえたこと。
- ・今まで知らなかった音楽に出会えて、そこからパワーをもらった時。
- ・宗教に入るつもりはないけれど、共感できるいろいろな歌に出会えたこと。

**出会い。**  
いろいろな出会いがあります。新しい人との出会い。神との出会い。人は誰かとつながって生きていくという事を思い出せるような気がします。

- ・素晴らしい音楽と出会うこと。神について考えられるようになり、少しだけ素直になれたことです。
- ・全国のゴスペルクワイアの人達と出会って一緒に歌ったりお互いのクワイアのファンになれること。
- ・素敵な仲間と知り合えて音楽をいつも身近に感じる生活になれたこと。年齢も関係なくこれからも年老いていこうとも、続けられる素敵なことに出会えたこと。
- ・所属しているクワイアのメンバーと出会えたこと。また、ゴスペルを通じていろいろな出会いが広がったこと。
- ・仲間に出会えた。結婚式で感謝されたり、歌っているのを真剣に聴いてくれる人がいるとき。
- ・素晴らしい仲間たちと出会えたこと。ライブなどで聴いてくれた人たちに喜んでもらえたこと。その人たちと心をひとつにできたこと。
- ・いろいろなクワイアの方と出会う事。
- ・いろいろな歌を聴き歌い、いろいろな人と出会う時。
- ・いろいろな仲間が出来た事や、自分が神様に生かされている受け入れられていると常を感じる事が出来るため。

**すっきり。リセット。ストレス解消**  
これは体を動かして思いっきり歌うという行為に  
関係しているのは、ゴスペルの体育会的側面

- ・つかれていて、今日はさぼろうかな、と思いつつ教室に行くと逆につきりしたような時。
- ・ゴスペルクラスで歌った後、程良い解放感と疲れと興奮が同居してる時。クリスマスライブで歌ってる最中と歌い終わった後。  
[これは本当に感動！無理して舞台があがってよかった~と思った]
- ・たとえば、体調がすぐれず身体が重い。今日はゴスペル休もうかな？って思う日でも、歌ううちにすっきりして元気になる。身体にたまった毒素が抜ける感じ。
- ・ストレス発散になる。初めてあった人同士でも綺麗なハーモニーをその場で出来る。
- ・お酒やタバコでいやされなかったストレスがいつのまにかなくなる。酒・タバコはもちろんやめました。

**伝わったとき。**  
これはよくわかるな。やっぱり何か伝わったときがあるのよ。その喜びのために歌ってるんだらうな。

**ポジティブになれる。癒される。ピース。**  
そりゃ生きていけば落ち込むことだっていっぱいあります。そんな時は、誰だって愛されたいんじゃないでしょうか。ゴスペルには神さまの無条件の愛がいつだって詰まっています。

- ・やっぱり歌に限らず、がんばろうって気持ちになることかな。
- ・つらいことを忘れられる。仕事で疲れたり、体調が悪くても歌っていると治る。
- ・へこんだ気分の時、レッスンで歌ってすっきりして元気になったりした時。
- ・何か辛いことがあっても、歌うことでその気持ちがちょっとだけなくなる。
- ・落ち込んだ時、力が出ないなと感じる時でも、歌っていると癒される。晴れやかな気持ちになれる。
- ・今日も一日頑張れた。又明日から頑張ろう。と思える。家で練習している時に娘が傍で一緒に歌っている時。
- ・夜道や困ったときにゴスペルをくちぶさむとなぜか元気になる。
- ・特に、嫌な事などがあり、気持ちが閉じがちな時、歌うことで元気を得るとき。
- ・疲れた時や、落ち込んでいる時、うたうことによって元気になること。今になって歌やピアノのスキルをアップさせるようになってきたこと。
- ・仕事でへばった時に「あー今日ゴスペル練習もつかれて行きたくないー」って思いがちな時、それをガンバって行くと「あー来てよかった」と思うあの瞬間(笑)。要はへこんでる時でも行くと歌うと元気になること。

# 18 ゴスペルを歌っている時、あなたにとっては何が一番楽しいですか？

- ・一体感。サビなどの部分で皆の気持ちが1つになった時にビリビリと体に流れる電流(神様の愛、恵み)歌っているときはいつでも楽しいです。反対に歌っていないと気持ち悪いです。
- ・自分が楽しく歌っている時、一緒に歌っている皆も笑顔で楽しそうに歌っている姿が見えたら最高に楽しい。
- ・クワイアで協力しあって1つになって歌うことが出来たときとても楽しいです！
- ・楽しい時はすっごく連続して歌い続けて何が何だかわけ分かんなくなって歌ってる時。楽しいことはソロ(先生)との掛け合い。
- ・大きな声で歌うこと。日常にない空間に自分をおけること。刺激が多いこと。
- ・余計なことは何も考えず没頭して気持ちよく歌えること。周りのみんなが楽しそうに歌っていること。
- ・歌に集中して全身全霊で歌っていると感じた時。皆が1つになった時。
- ・みんなで歌っていると実感したとき。ユニゾンでもハモっている時でも、重みが感じられた時が一番楽しいです。
- ・クワイアの心が1つになっていると感じること。
- ・仲間達と心がひとつになり歌声もひとつになること。

- ・ほかのパートとハモっているのを感じるとき。
- ・大きなハーモニーになったとき。
- ・皆の音が1つになる事。
- ・クラス全体が一体化した時の気持ち良さがたまらない！！
- ・自分の中から感情があふれて、それがみんなのコーラスと一緒になること。
- ・一体感。舞台にあがってる人間同士はもちろん、観客のみなさんも含めて。
- ・ハーモニー。うまい、へたではなく、みんなの音が1つになる瞬間がある。
- ・大きなパワーとなって歌がまとまっていったとき。
- ・たくさんの人達の歌声がひとつになること。ハーモニー。
- ・メンバーとの一体感と会場の盛り上がり、そして、神様が聞いてくださること。

**思いっきり解放される。もちろんストレス解消も。**  
もうひとつは、解放感。これは体とココロの両方に言えることです。クラブして、体を動かして、ビートにのって思いっきり声を上げて歌います。しかも繰り返し繰り返し  
(笑) Higher and Higher!

- ・自分が解放されること。
- ・開放感と一体感。上手く皆の音がまとまり、自信の無い所が皆同じで急に声が小さくなった時。伴奏がかつこよかつた時。
- ・心が浄化されて、リフレッシュできること。
- ・心の解放感。素直に幸福な気持ちになれること。みんなと1つになる一帯感を感じられること。
- ・無になれる。素になれる。Powerがみなぎる。
- ・声を出して気持ちが軽くなること。日常のストレスとかが身体から溜り出ていく感じがする。
- ・身体全身で自由に一生懸命、精一杯歌えること。
- ・言葉にするのは難しいけど、

感情が解放されるのを感じた時が一番楽しい。

- ・魂が解放されて、神を賛美できること。
- ・自分の心が開放されてる事。同じその時、同じ様に楽しんでいる人が周りにも居ると感じる事。
- ・心を開放しているような感覚が味わえること。
- ・自分の意識が自分からだんだん出て行って、自分が歌詞や思いを伝える器になっていく感じ。

神の愛と力に包まれたような気持ちになることが楽しいのと、他のクワイアの楽しそうな表情を見るのも楽しい。

- ・歌っているとき、神様に心からゴスペルを歌える。
- ・ゴスペルを通して個々が1つになれる感覚。神様に触れられて、鳥肌が立つ瞬間。
- ・愛するメンバーと共に神様を賛美しているところ。
- ・大好きな音楽で神様に向かって精一杯歌ってること。
- ・神様とのコミュニケーション。人とのコミュニケーション。
- ・辛いことがあっても、歌っているときだけは、神様を感じて感謝をもってさげられることが一番の喜びです。大胆にそれをあらかずすることができることもかな。
- ・全てを忘れて神に賛美するとき、思いっきりうたうとき。
- ・自己満足かもしれませんが、神様と話をしている気持ちになれること。

**包まれる。幸せな気分になる。素直になれる。つながれる。**  
スピリチュアルとはこのこと。賛美するとは言葉ではなくて、スピリットが神さまの方を向いて、ありがたうということ。ゴスペルを歌っているとき、そういう瞬間がたくさん訪れます。

これは単刀直入にゴスペルの魅力を言い当てている部分。リアルです。やっぱりひとつは一体感。声を合わせてひとつになるというところ。しかもゴスペルは見えないものに向かって歌います。神さまは目に見えませんが、やっぱりわかからない感動。

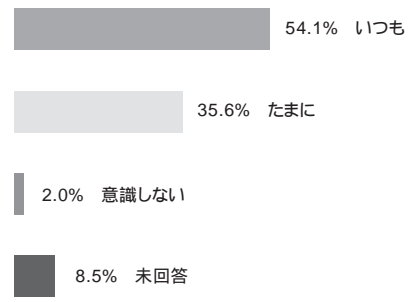


「深いところではそうだと思います。ただ、ノンクリスチャンでも少しでも理解して歌おうとするならば、より本物に近いものが歌えるとも思います。」



## Q 20

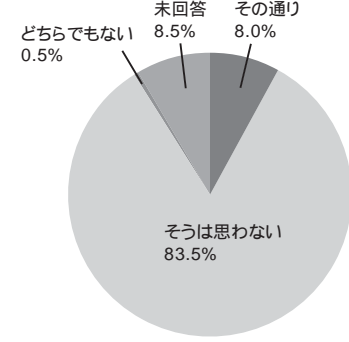
ゴスペルを歌う時、あなたは歌詞の中身を意識しますか？



いつも歌詞の内容を意識しているという人が半分以上。たまにという人も含めると、9割の人が歌詞を意識して歌っています。これはすばらしい。英語の歌詞の場合、ちゃんと内容を意識して歌わないと、歌に対する入り込み方が薄くなってしまふから。でも、わかなくてもたのしいという人が悪いわけではなくありませぬ。その場合きつとゴスペルの素晴らしいの半分しか味わってないんじゃないかな。特にゴスペルは神さまへの賛美。聖書の中に書いてあることがたっぷり盛り込まれています。バイブル・スタディなどもとってヘルプになりますね。これは伝える方の意識と伝え方が重要になってきます。宗教のお勉強じゃないんだから、スピリットを大切に。頭じゃなく苦勞様です！みんなりハの時はいく説明聴くように！

## Q 21

「クリスチャンとしての信仰を持っていないと、ゴスペルは歌えない」という考えについてあなたはどのように思いますか？



ついに来ました。この設問に対してみんながどう感じているかを知りたくてこのアンケートを作ったよなものです。ちよつと言い過ぎか。それにしても、集計後のこの数字には勇気づけられました。要はほとんどの人が、「クリスチャンとしての信仰を持っていないと、ゴスペルは歌えない」とはならないと思っているということなんです。でも一番知りたかったのはどうしてそうは思わないかってこと。さて、皆さんの誠実な回答をそのまま読ませていただきます。

### まずはその通りだと思うという人の意見から

- ・わたしたちのように趣味で歌っているレベルならともかく、ほんとうの意味でのゴスペルは、やはり信仰とセットになっていると思うから。
- ・音楽のテクニックとして歌う事はできても、キリスト教の神の持つ力と信じる者の求める力から生まれた本質的なゴスペルの持つ力は信仰をもたない者には得られないと思います。
- ・歌への重みがない。歌っていることを信じているかどうかかわからないので信憑性がないような気がする。そう思い始めてからすぐゴスペルのクワイアをやめました。
- ・信仰心があつてのゴスペルだから。
- ・ノンクリスチャンでも理解をしようとするのでゴスペルは歌えると思うのですが、真のゴスペルはやはりクリスチャンでないと歌えないと思います、残念ですが。
- ・歌えないという訳ではないが、本当の醍醐味は分からない気がします。

- ・だから悩むのです。
- ・ゴスペルを音楽として楽しむのはノンクリスチャン、クリスチャン全ての人にとっての機会だと思います。でもゴスペルを歌うという事はただ単に歌を歌っているのではなく、神様への賛美なので、信仰を抜きにしては歌えないのではないかと私は思っています。
- ・どちらかといえば・・・歌っているときに疑問を感じる時があるから。
- ・クリスチャンではないので、複雑な気持ちを持って歌っています。
- ・ゴスペルの持つ意味がそうだから。
- ・主に向かって歌う賛美、捧げものだから。歌詞の内容からして、信仰がなければ伝えられない。信仰がない者が、自分の楽しみのために歌うのは、神への亵瀆だと思う。
- ・いくら単語の意味を理解していたとしても、核心の部分は理解できてないのでは？と思うから。
- ・厳密に言えば、ゴスペルがキリスト教を基盤とした音楽であるため、そう言わざるを得ない。

- ・歌っていても歌詞が重すぎて歌えない時があるし、神様を受け入れるか否かの波がやってくるのを心の中で整理するのが辛い。
- ・ゴスペルの本当の意味を体感できないし、共感できないと思う。それに歌を歌いたいのであればゴスペルに限らず他のジャンルの歌でも構わないのではないかなと思う。クリスチャンとして神と出会うきっかけとしてゴスペルとの出会いがあるのは構わないと思うが、本当にゴスペルを愛し、歌っているのであれば神との出会いは避けて通れないと思う。
- ・恋愛したことのない人が失恋の切なさを真に歌いきれないように、神を信じる信じないではなく、Bible Studyや黒人のしいたげられた歴史を学ばないなら、ただのコーラスだと思う。
- ・本当の意味でのゴスペルは歌えないと思う。でもゴスペルを歌うことで神様に会おうきっかけにはなると思うので歌うことに反対はしない。
- ・歌えるけれど、やっぱり神様の恵みを流しだす歌にはならないと思うから。

そしてそうは思わないという人達は  
信仰を持っているのが自分だとは思っていても、持っていないけどリスペクト/理解/共感があればOKでもやっぱり信仰を持ってた...という人も

と思うから。  
・でも、クリスチャンの方が「ゴスペル」を大切に思っていることを、踏みにじるようなことはやってはならないなあ強く思います。  
・アメリカ同時多発テロの生中継の時、祈る宗教を持たない私はゴスペル口ずさんでました。  
・この質問はとても難しい。信仰を超えて人間として一つになることは素晴らしいのでノンクリスチャンでも歌ってよいと思うが、クリスチャンであればノンクリスチャンともっと違う意味を持つてるとは思う。ゴスペルを通じて宣教していく役割もあると思う。  
・ノンクリスチャンですが、神さまの存在は感じる場合があります。ノンクリスチャンだから感動しないかというところでもありません。クリスチャンの気持ちを理解して賛美に加わることは可能だと思っています。  
・正直言って「信仰がないと歌ってはいけないのでは」と迷ったこともありますし、本来、ゴスペルはクリスチャンのものだとも思います。  
・人間としての生き方を歌うのに、信仰が限定されるなんてナンセンス。でも、歌に込められた思いを伝えることは必要だと思う。  
・信仰をもっていないでも、その内容を理解して同意できたらいいと思うから。  
・共感できる部分はあつて。  
・クリスチャンの存在を理解できればいいと思う。  
・より深い理解を求めらるなら、信仰を持った方がいいと思うが、まずは理解しようとする心があればいいと思う。  
・たしかに、ゴスペルは神を讃え、感謝の念を表す宗教音楽。でも、ほとんどわからない私が、泣けたのは、宗教も言葉も越えた何かがあつたからだと思う。だからクリスチャンでなくても、歌うことで勝手に何か伝わればいいのではないかなと思う。  
・実際のクワイアもクリスチャンの人が少ない。歌詞の意味を理解しようとしてたらいいのではないかなと思う。

- ・神様を崇拜している内容の歌なので信仰を持っているのがbestだとは思いますが、とくに信仰を持っていなくてもよいと思う。
- ・信仰心は大切だと思いますが、歌う人と神さまとの間のことはその人だけの問題。
- ・いつも考えるが、誰でもそれぞれ神聖なものへの畏怖・畏敬の念は持っているのだから、それに対する感謝の気持ちがあれば歌うことができると私は思っている。
- ・クリスチャンのことはよくわからないが、心の奥底のところで共通しているマインドがあれば問題ないような気がする。
- ・私はノンクリスチャンですが、歌の意味を理解して歌っています。
- ・洗礼を受けていなくても、神様をリスペクトする心があれば歌える。
- ・今の私には難しい質問です。真のゴスペルを歌うにはやはり信仰がないと歌えないと思う。けれども、クリスチャンでなくてもゴスペルによって救われたことや得られたことが自分の思いとして賛美につながればそれでも良いのではないだろうか。
- ・クリスチャンでなくても歌っていると、感情が入り、みんなにも感動を伝えられる。
- ・歌うことで、Jesusに敬意を捧げ、Godはそれぞれの胸に秘めるので良いと思う。
- ・悩んで歌うことに抵抗を感じる時もあるけれど、歌って楽しかったり気分が晴れるから、歌わなきゃ損！
- ・キリスト教という宗教をゴスペルを通して理解するとき、聖書の教えを自分なりに受け入れることは可能だから。
- ・歌うことはできると思うが、歌の根底を理解して表現はできないのではないかなと思う。でも、そんなことを言い出したら、すべての宗教音楽は信仰者でなければ歌ってはいけないのかという議論になることだし、極論ではないかと思う。
- ・信仰を持っていた方がより心をこめて神を賛美できると思いますが、私も信仰はありませんが神を賛美する気持ちはあるのでゴスペルを歌えないという風には思いません。
- ・実際歌ってると、でもそういう内容を歌ってるといつかとはいつも頭においています。逆にクリスチャンの人がどう思っているかはすごく気になる。  
・洗礼は受けていなくても、常に謙虚な気持ちでゴスペルの持つメッセージを理解しようとする姿勢があれば、むしろ形だけの信仰より意味がある



「歌い出すそのものに意味があると思う。楽しくなるし、何よりも神様は心が広いからさっさと受け入れてあげたい。」

「何よりも『Good News』は全部の人に伝えられたらいいと思います」

違うというを理解し合う

- ・歌を通して人と人が触れ合い、お互い（信仰の有無）を理解しあえればいいのでは？
- ・私の所属グループはすべてそうですが、クリスチャンとクリスチャンでない人が一緒に歌うということにも意味があると思っています。
- ・国や地域、文化、思想を越え、お互いに理解することが大切だと思うから。
- ・クリスチャンが讃美するのは、当たり前。ノンクリスチャンの方が讃美するのは、本当に感謝です。もっと一緒に讃美しましょう。
- ・異文化交流に触れるよい機会だと思います。

神さまを知る大切なきっかけ

- ・これをきっかけにしたらいいと思います。歌っているとどうしても考えないわけにはいなくなるから・・・
- ・いつも葛藤する部分です。確かに信仰がなければ本当の意味でゴスペルが自分の内側からでてくるものにはなりえないでしょう。でもだからといって未信者は歌えないかとそんなことはないと思う。それを通して神様に出会い、ゴスペルが自分のものとなってゆくことに大きな意味がある。
- ・自分自身がゴスペルを通して神様と出会ったから。歌える身体や時間が与えられていることに感謝して、歌えばいいと思う。
- ・クリスチャンでなくても、歌っているうちに、歌詞の意味をもっと知りたくて教会に通いだして洗礼を受けた人が何人もいます。

- ・クリスチャンでない私が賛美し、また、信仰を持っていない人へのアピールと成り得る。
- ・ゴスペルを歌っていくうちに信仰心もついてもありえるから。実際私もクリスチャンではありません。
- ・日本においては、クリスチャンになるのに抵抗がある人も多いが、そういう人々もゴスペルを通して神様を賛美することは神様のご計画であろうと思うから。
- ・自分のように信仰のきっかけになるかもしれないし、何よりも「Good News」は全ての人に伝えられたらいいと思います。
- ・ノン・クリスチャンでも神様へ賛美が出来るのではないですか？ゴスペルがきっかけでクリスチャンになる人もいるから、全然そうは思いません。
- ・GOSPELの大親分であるイエス様が、キリスト教でない人々も招いていると信じています。親分が招いた人々をどうのこうの申し上げられる身分では御座いません。むしろGOSPEL仲間としてキリスト教でない方々を、菊之介は喜んで歓迎致します。
- ・福音はクリスチャンだけに与えられるものなのでしょうか？ゴスペルを通して、いろいろな人がキリスト教に接する機会をもつ。そして考えるようになる。それも大切なことだと思うから。
- ・音楽を勉強する人間の音楽人生における自己向上や喜びのすべてとなるものであると考えるから。また、持論としてはゴスペル=福音=Good Newsということから少なからず音楽を愛し、または癒しを求め、ゴスペルに出会ったなら、創造主は自由にその良い知らせを受けられることができると思ってるから。神に生かされているという感謝をもって演奏するならばたとえラブソングでも人にとってゴスペルとなることもあるのではと考えています。
- ・以前、エドウィン&ウォルター・ホーキンスに会って直接インタビューしたときに彼らも話していましたたが、ゴスペルを歌うことによって、神様を知らない人でも神様の存在を感じ、信じるきっかけになるから！
- ・クリスチャンでなくても、ゴスペルを歌うことによってなにか見えない力を感じその大きな力に包まれる幸福感を感じられればそれでいいと思う。

ゴスペルの力。ゴスペルへの愛。

- ・信仰の有無に関わらずゴスペルは心を癒してくれるものだと思うから。
- ・そんな開かれた音楽ではないと私は思う。クリスチャンでなくても歌詞の意味を心で感じられます。
- ・とても見の狭い考えだと思います。信仰心の有無に関わらず、ゴスペルには、それに携わる人々を幸せに出来る力があると思う。その事実を歓迎するべき。
- ・そのような考えがあるとはわからなかった。宗教は違っても、仏教徒であろうと歌うのは自由だと思う。
- ・人種や身分の枠を超えて歌えるのがゴスペルだと思います。
- ・そんな垣根に納めておくにはもったいない音楽だから。
  - ・私は特に信仰しているものはないが、ゴスペルの内容に人生を生きていく上で相通じるものはあると思う。
  - ・私自身がそうだから、信仰に関係なく、強い気持ちやメッセージは伝わるものだと思います。
  - ・正直、はじめは、クリスチャンでもない自分が歌っているのか、と、抵抗があり、あえて、教会でのクワイアに入らなかったが、今は、歌うことに、制限や理由はいらぬのではないかと、思っている。歌詞に心をこめて、曲を大切に歌えば、その機会は、みごとに開かれるべきだと思う。

NOといわない神さまの大きな愛。その愛。クリスチャンではなくても、その歌詞を理解し、共感し、尊重できているのであれば歌える。それができる時点でクリスチャンなのかもしれない。でも少なくとも理解しようとする姿勢もないのであれば、それはゴスペルではなく、「ゴスペル風」の音楽かもしれない。でもそういう人でも、神様はある時その意味を理解させる、共感させる瞬間を創って下さると思う。その瞬間を感じることができるといつか思っています。その時本物のゴスペルになるんだと思います。

- ・のたびに、ほんとは私は信仰心なんて持っていないんだ・・・という自責の念を感じた。しかし、あるクワイアの牧師さんが「神様はそんなに懐せない。好きなゴスペルを歌ったらええんや」と言ってくれたり、それから気持ち的にも楽になった。ゴスペルをはじめて何年か経つのに、今年に入ってからふと気づくと教会に通うように。初めて居場所があると感してくださった教会に出会えた。今は、ごく自然に信仰を持ち、より意味を感じながらゴスペルを歌うようになった。流れのままにここへ来たような気がする。
- ・ゴスペルはすべての人のものだと思います。そこで信仰を持つか持たないかは個人によるものだし、神様はクリスチャンでない方がゴスペル歌っていることも喜んでおられると思います。
- ・たとえ全ての歌詞の意味が理解できなくても、わかる部分だけに感動したり、自分が歌っていて気持ちいいと思えたらそれでいいと思う。神は万人に対して平等だから。
- ・「クリスチャンじゃないと歌えない」という考えは本来のイエス様や神様の寛大なイメージに反すると思うから。
- ・聖書にそう書いてありますという言い方はびっくりされると思います

- ・「何を持ってゴスペルとするのか？」と言う定義が曖昧ですよね？特に日本人に對しては。もし、ブラック・ゴスペルに限定するのなら、個人的には、日本に住んで生活している人に、アフリカン・アメリカンの文化、生活そのものであるブラック・ゴスペルが本来的には歌える善などないと思ってます。我々はただ、彼らの歴史や文化をリスペクトし、近付く努力をしているのだと思っています。
- ・ゴスペルをはじめてすぐ、その壁に突き当たり、いくつかの教会に足を運んでみましたが、そのときはどこでも居心地の悪さを感じてしまった。

- ・ですが、詩篇の150篇にそう書いてあります。誰もが賛美しても良いのです。
- ・なぜなら歌・芸術・そのことで得られる楽しみや喜びは、神様が全ての人に雨や太陽と同じように注いでくださる恵みだから。だれがうたってもOK。そのことから神様に出会うかもしれない。
- ・正直言って「信仰がないと歌ってはいけいではない」と迷ったこともありますし、本来、ゴスペルはクリスチャンのものだとも思いません。しかし、ゴスペルをノンクリスチャンが歌うことで、「神とは何だろうか？」「神の愛とは？」「平和とは？」「平等とは？」等考えるきっかけになるのであれば、それはすばらしいことだと思います。
- ・ゴスペルはどんな人でも受け入れてくれます。愛があれば大丈夫です。
- ・実際自分がクリスチャンではなく、それでも教会へ行くのが楽しく、ゴスペルを歌うのが楽しい。神様はそんなノンクリスチャンもちゃんと見てくださっていると思うので。
- ・クリスチャンとしての意識付けがなくても、ゴスペルの歌詞そのものがメッセージだから
- ・うちのメンバーはほとんどノンクリスチャンですが、本当に喜んで歌っています。私はゴスペルの中の神様の言葉そのものに力があると思います。
- ・ゴスペルは福音。神からのよい知らせは、すべての人間に与えられたものだから。

自分が大切に思う対象があれば、それぞれの思いを込めることができると思います。  
 ・勝手に解釈しているかも知れないが、GODを身近な人、すべての人々、地球上の生命、自然等におきかえておもうことができる。  
 ・救いを与えてくれたり見守ってくれているのは神様だけではない。家族であり友人、知人、恋人・・・。人とのつながりの中で初めて感謝や愛する気持ちは生まれるものだから、そういうものを称えて歌ってもなら問題は無いと思う。  
 ・神に向けて歌わなくても感謝したい人に向けて歌うのもいい。  
 ・神様という存在は日本人には遠いから別の対象を思い浮かべてみたいという思う。  
 ・実際、私はノンクリスチャンだけど歌っているし、感動もするから。自分の大事な人へ置き換えて歌ったりしてもいいし。  
 ・このことで悩んでいた時期もあったけど、「自分の信じている神様や自分の周りの人達への感謝の気持ちを歌にすることでいいと思うよ」という、ある人の言葉でも楽になった。ただ、ここまでふっ切れたのは、そうしてくれた人がクリスチャンであったということでも大きいと思う。

自分にとって大切な存在に置き換えてみる。





「神様だけでなく、誰かを愛する気持ちがあれば「ゴスペルは歌えるんじゃないでしょうか？」

こんな意見も

- ・ゴスペルも音楽のひとつだから。歌の中身をどう理解するかは自分次第だと思うから。
- ・たまたまジャンルがゴスペルだっただけ、自分なりの詩の解釈で思いこめればよいし。
- ・歌を歌うのになんの壁も必要ありません。一人一人の思いをのせ歌えばいいと思います。
- ・現在はひとつのジャンルになっているから、誰が歌ってもいいと思う。
- ・西洋音楽のクラシックはヨーロッパの教会音楽から発展しました。そんなことを言っていたらクリスチャン以外は歌を歌えなくなります。音楽を宗教の世界に閉じ込めるのは不幸なことだと考えています。
- ・恋をしていなくてもラブソングが歌えるように、楽しければそれでいい。
- ・始まりは宗教であっても、音楽は音楽と考えればよいと思

う。バッハもヘンデルも宗教音楽です。先日、真言宗と天台宗の僧侶による「声明」のコンサートに行きました。演奏者は「お経ではなく、ひとつの音楽として鑑賞してほしい」とおっしゃっていました。コンサート用に作曲されたものでありましたが、やはり読経、しかし人間の声の広がり、響き、すばらしいものでした。悲しい、うれしい、何かにつけ人々は歌い踊るもの。クリスチャンでなくても、ゴスペルの癒しは、誰に与えられても良いと思います。

- ・歌は国境・人種を超えて愛されるものだと思います。
- ・ゴスペルを最初に歌った人達は、そんなこと考えていなかったと思う。信仰のあり・なしではなく、歌いたいと思うことが大事なのではないか、と思う。
- ・私は2年歌ってるが、クリスチャンとしての信仰など全くもってこの身にはないから(笑) 神様はいるかもしれないしいないかもしれないし。でもねーこまった時は「神頼み」だねー。私も最初は思ってたけど。そんなことは全く関係ないよね。

それなりの感謝で

・クリスチャンでもとんでもない人間はいるし、ノンクリスチャンでもとんでもないクリストの教えを詳しく知ってる人や、まわりからよく愛される人もいるわけで、区切りや境目を置くのはナンセンスだと前から思っていた。

・クリスチャンでなくても歌によって自分が解放される感覚は分かると思うから。

・自分もクリスチャンではないけれど、歌詞には人としての必要なことが多く歌われていて共感出来るから。

・人に感謝したり愛したり、何かを信じたり、その一途さ、と言ったものはとても美しく、誰でも持っているものだし、それがゴスペルの持つ魅力のひとつだと思うので、それらは信仰云々を超えたものだと思います。

・何かを信じて頑張っていく姿勢はクリスチャンでなくても伝えられると思います。

・歌詞の意味の取り方は人それぞれだし、人が幸せになるために歌う歌なら宗教は関係ないと思います。

・それをいうなら、人種もすすんでいる国も問われると思いませんか？あと、時代も。ゴスペルもどきと言われようと、歌いたいと思う全ての人が歌っていいと思います。

・信仰だけではなく、気持ち+心だと思います。

・クリスチャンであるかどうかの前にもどのような心を持って歌うかの方が大切であると思っているから。

・信仰を持っていないくても、歌っている楽しさややすらしさを伝えられるから。

・どんな物事でも“いい”と思うことは、誰でもへだたりなく“いい”ものはらず、誰でもそのよさを味わっていいと思う。

同じ人間だから求めるものは同じ。信仰心もある。誰の中にも神は宿る。

・どの宗教に入っていない、特に宗派のない人でも、きっと求めるものは同じだと思うから。

・確かに信仰があればより気持ちを込められる部分があると思うが、信仰は誰の心にもあると思う。信仰と言うと少し言葉が難しいが、優しい気持ちだったりそういうものがきっと歌にあらわれるのだと思います。

・信仰の対象が違っても言おうとしていることは良くわかるし、またたとえ信仰がなくても非常に分かりやすい歌詞が多く、十分気持ちを込めることができると思う。

・神様は誰の心の中にもいると思います。神様だけでなく、誰かを愛する気持ちがあればゴスペルは歌えるんじゃないでしょうか？

・宗教関係なく、神というのは存在していて、その自分の信じる神に対して賛美していると思うから。

・クリスチャンだけが神を信仰しているわけじゃないと思います。自分の神様を信じていけば良いと思います。

・クリスチャンでなくても、たとえ無宗教の人でも、私の中にも自分だけの神様がいると思うから。

・クリスチャンでなくても、神・仏を思う気持ちは同じ。私もまわりのみんなもクリスチャンではないから。

・キリストだけでなく、自分の中でブッダでもアラームでも自由に置き換えて歌えばよろし。

・どんな形であれ人にはそれぞれ信じるものがあるって、それを心の支えにしている部分があると思う。

・人間は誰も不完全だから。世の中にはいろいろな宗教があって、その中のどれが正しい宗教なのかわからない。でもこの世に存在する何者でもない、何かを信じる気持ちがあれば、ゴスペルは歌えると思う。

・信仰はなくとも人の理性、モラルはキリストの教えと近いと考えるから歌詞の意味がわからなくもないから。

・讃える神様はたくさんいるから。日本には八百万いるし。

・洗礼を受けたかどうかの形式的なことであり、神を信じている心があれば良いと思うから。

・神にたよりたいとか、そばにいてくれる存在でありたいという気持ちは誰しも持っているものだと思うから。

・子供の頃、悲しいとき、風邪をひいた時etc.「神様がみてくれるなら大丈夫だよ」とよく親に言われました。すっと楽になりました。今でもそんな風に考えて心をおちつけることはよくあります。その神様にはキリストの様なエピソードはないけれど、とらえ方はよくにているような。たとえば「神様」という呼び方でもなかったとしても、きっと多くの人にそんな存在はあるのではないのでしょうか。御先祖様だったり、道端の石だったりに相談やざんげする気持ち。ゴスペルの精神と共通する部分はあるんじゃないかなあと。

・自分がChristianじゃないので、歌わせて欲しいという願いが強い。God, Lord, その意味に幅を持たせて歌わせていただきたい。

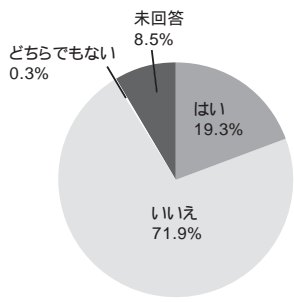
・日本人としては、すべて(万物)に対する神様がいてという心がある。形こそ違え、素直に仰ぎ、尊ぶ気持ちがあれば、クリスチャンの心も感じる“心”が生まれるのでは、と思います。

まず言いたいのはこうしなくてはいけないということではないこと。そしてあくまでも僕の個人的な感じ方です。生き方ですが、みんなそれぞれいろいろ経験しながらそれなりに生きています。必死に生きてたからって訳じゃなくて、Amazing Graceによって、そんな僕からすると、クリスチャンにならなさいとか、信仰を持つべきだなどと言っ気にもなりません。神さまを知って生きるとは、いまいましいこと。いいぜーと人に伝える、いまいましいこと。そして、ああこの人知って欲しいなあと思えば、その人のために祈る。大体、押しつけられるようなものじゃないよ。もつといいものだから、元々あったんだけど見えなかったものに目が開かれて気付くって感じかな。神さまはいるのだから、元々あった。そこにいるんだから。だからゴスペルがすごいんだ。音楽ってすごいんだ。理屈じゃないよ。スピリットだ。神さまありがとう。そんな感じですよ。

だから、みなさんの意見は全部ほんとだと思えます。それがみなさんの真実なわけだから。ただ僕はゴスペルを喜んで歌っている人がこんなにたくさんいるんだから、みんなにとってゴスペルが生き方になったら最高だと思えます。だってみなさん、週2のりハカ月2のクラスか、毎日自主練かわからないけど、ずっとゴスペル歌ってるときのあの感覚で一日一日その瞬間を生きていってたらそれはすごくないか。それがゴスペルを生きてること。そしてたら歌ってると人はゴスペルシンガーだし、パン焼いている人はゴスペルパン屋だし、泳いでいる人はゴスペルスイマーだ。でも、うん私は。と唸ってるそのあなた。いいんです。そこまで真剣に考えたり、悩んだりしてくれてること、神さまは見てるし、喜んでくれるんじゃないでしょうか。すべてのことにぶさわしい時がある。と聖書にも書いてあるし。

まずこれはダメ。あれもダメ。というのをやめましょう。それは盛り上がりがないよ。全然Upliftingじゃない。それ言われたいよ。求むよ。ohh halleluayaby Jesus. Amen.

Q 22 あなたはクリスチャンですか？



なるほど。ゴスペル村、100人の村人のうち約20人がクリスチャン。約70人がそうでない。ということになります。という回答を読ませただくと、そう単純に数で割り切れるものでもないと見えてきます。





「勇気を与えてくれるもの。元気の源。ゴスペルを歌っていることを誇りに思う。」  
「元気の素です。仕事よりもゴスペルが大事！」

「自分自身を表現する大切な手段のひとつ。心もしくは魂のシェルター」

- ・自分の心を素直に表現できる。
- ・自分を解放する。神様にはなしかける『言葉』みたいなもの。
- ・喜び・感情の表現・自己表現・叫び・訴え。
- ・自分をさらけ出す事、自由になる事。
- ・仕事を辞めて、専業主婦になり、他の趣味をやめた今、自分自身でいられる時間。
- ・自分をとりもどす。
- ・色々な意味での心の広がり。
- ・大好きな歌がうたえる。自分の気持ち・考えの幅が広がる。プラス思考でいられる。
- ・何もかも忘れられる楽しい時間。
- ・新しい自分の発見。
- ・思い悩むタイプの私にとって、自分を活性化させ、前向きに生きようとする事に繋がる。これは自分にとって家族にとっても、いい妻・親・人間でいられると思われたい。「いいー」というのは「よい加減」でいること。
- ・日ごろの雑念、ストレスを払い、心の奥にある素直さを見つめ、感謝の心を自然に引きだせる。
- ・心が自由になりました。新しい事へのチャレンジの大切さを学びました。
- ・自分自身を表現する大切な手段のひとつ。心も

- しくは魂のシェルター。全てを忘れ、ゴスペルを歌うことだけに集中できるかけがえのない時間。仲間に出逢えた事への心からの感謝と喜び。
- ・自分らしくいようという気持ち、感謝する気持ち改めて確認することです。
- ・子供が小さいので、子育て一色の毎日ですが、ゴスペルを歌っている時間は、唯一と言っていていい、自分の時間なので、リフレッシュしています。また、ゴスペルを通して、色々な年代の、色々な職業の人たちと出逢い、私の世界を広げてくれています。
- ・自分のダメなところが良く分かるので、これから、その先にそれを克服した自分を見たい。というか、今、それに負けそう。
- ・自分を表現する手段。ゴスペルを歌っている時のようにいつも前向きに何事にも向き合いたい。
- ・日々の反省と魂を救ってもらうこと。
- ・妻でも母でも仕事人でもない個としての私になれること。
- ・解放であり、挑戦であり、憩いでもあります。

**気持ちを表現する。解放する。**  
自分を解放する。そういう時間が少ないんだね、みんな。いろんな環境の中で生きてるわけだから。でもだからいいじゃない。

**人生。生きがい。生活の一部。**  
ゴスペルがライフになっていく。

- ・大きさに言う生きがい(笑)でも今一番ここにいるのが楽しい。
- ・私の中でゴスペルはとても大きな存在です。今の私にとってはなくてはならない生きがいのようなものを感じる。まだまだ下手だし知らない事も沢山あるし自分を完全に解放しきって歌うことはできないけれど、私の大切なもの！
- ・心の支え！生きていくこの意味！
- ・生活のすべて。元気な状態を毎日保つ栄養剤です。
- ・息をしたり、ご飯を食べたりする日常の中での当たり前のことになっています。だからゴスペルの無い生活は考えられなくなっています。
- ・大切な習慣のひとつだと思っています。
- ・ストレス解消で始めたが今では生き甲斐になっている。
- ・一生続ける事、心の糧、ただとても楽しいこと。
- ・生活のサイクル。心のオアシス。幸せなひととき。
- ・生きていく上での大切な場所です。

- ・自分が生きていることに等しいです。
- ・音楽を仕事にする自分にとって基本でもあり、生き甲斐です。
- ・私の生活の半分以上がゴスペルです。救いです。
- ・今の生活において、最も重要なもの。
- ・人生の友。食べる、眠る、語る、生きる、喜ぶ、吐き出す、歌う。
- ・呼吸するように、生きるうえで必要なもの。歌っていけない世界にいたら苦しくて死んでしまいます。
- ・LIFEです。生活にも人生にも欠かせないもの。もう一つの家。高慢になりがちな自分への戒め。自分への励まし。人との関わりあり。
- ・生きるテーマ。
- ・生活の一部。歌うことで“また頑張ろう”って気分になる。
- ・生きるために必要なもの。呼吸をするのと同じくらい大切なものです。
- ・生きるよろこびである、生き続けるパワーを生む源です。
- ・特別なものではなく、自分の一部です。
- ・わたしのすべてです。
- ・もう普通。日常。ないと困る。ないと悲しい。ないと辛い。
- ・ライフワークですね。ただ好きでは片付けられない、なくてはならないものです。
- ・時折歌うのが嫌になることもあるけど、良いにつけ悪いにつけ人生の一部になる可能性あり。
- ・必ず、日々のどこかにあること。楽しいときも。悲しい時も。
- ・賛美することは息をする事と同じです。それくらい自然な事で、必要な事です。

- ・心が癒される。
- ・笑顔で過ごす為の活力、ストレス解消。
- ・生活の一部。癒しであり、元気の源であり、ストレス発散の場でもある。
- ・疲れや暗い気分のリセット。
- ・勇気と元気。安らぎと慰め。後悔からの脱却。
- ・疲れた時や嫌な事があった時でも、ゴスペルを歌うと元気になれる。パワーをもらえる。
- ・仕事やストレスから自分を開放させてあげられる時間。
- ・自分自身の解放。落ち込んだときの回復薬。
- ・魂の洗濯、ストレス解消。
- ・ストレスで壊れちゃいそうな自分を救う楽しい時間。
- ・疲れている時、ヘコんでいる時も元気にしてくれる。モヤモヤした気持ちを洗い流してくれる。
- ・前向きな気持ちを取りもどす。
- ・今の自分の喜びのほぼ100%に近いです。

出てくる。出てくる。みんなの思い。さてもみんなに託ったゴスペルとは一体？  
**元気の元。ストレス解消。癒し。**  
元気になる。ストレスが消えていく。これはもうそれだけで、歌い続けていく大きな理由になるでしょうね。

- ・自分の居場所...とても癒されます。
- ・もう生活の一部。心の支え。
- ・心の栄養剤のような感じ。
- ・辛いと感じる時でもゴスペルを歌うと勇気や答えが見つかるような感じがする。
- ・歌うこと、ゴスペルにふれること、仲間とかかわること、心のバランスをとっていると思う。
- ・心の支え！生きていくこの意味！
- ・気持ちのバランスをたもつところ。
- ・なくてはならないもの。ゴスペル禁止例が出たらツラくてたまらないでしょうね！仲間うちでこっそり隠れてでも歌ってしまうことでしょう。それほど大切なものです。
- ・私自身の心のバランスを保ってくれるもの。
- ・生きているということをより深く確認すること。癒し。自分をふりかえること。
- ・魂を癒す、自分の生きる意味を見出す。
- ・生活の中で、まっすぐ立ち直す時間。
- ・自分の生き方を見つめなおす、好きな歌を歌う、気持ちの整理。
- ・自分のアイデンティティーそのもの。
- ・次の自分に必要な多くのメッセージを拾う機会を与

- ・生活に張りをもたせてくれる輝く時間。
- ・毎日の生活の中で力をもらえる。
- ・自分を解放してくれる。素敵な出逢いをくれる。私の栄養剤。
- ・沢山の神様や周りの人達への感謝や色々な思いを込めて歌うことで、とても優しい気持ちになれる。元気になれる。頑張ろうという気持ちになれる。心のビタミンのようなもの。
- ・自分を楽しませ癒し。人を楽しませ癒す。
- ・日々の生活の中で体感できない時間を与えてくれる。ゴスペルを歌っておもいきり声を出し身体を動かすのが、私の元気の元です。
- ・心の湧きを癒してくれる。みんなでひとつになって楽しむことができる。
- ・病んだり弾んだりする心を、癒したり高揚させたりし、明日に向けての切り替え。
- ・心のやすらぎ。
- ・自分にとってゴスペルは「癒し」である。そして普段の自分とは違う「変身」かな...
- ・辛いときは力を与えてくれる癒してくれる楽しさを与えてくれる。
- ・人生を前向きに生きること。
- ・今は生活する上でのパワーをもらっている。
- ・ゴスペルを歌うことによって、自分のドロドロした嫌な感情を浄化しているような気がします。
- ・魂の浄化作業。自分にとっての楽しみ。歌い手と聴衆がともに神様に近づくのを楽しみ、助けること。

**心の支え。自分の居場所。生きる意味。**  
心の支え。これも何人もの人から聞いたことがありますがね。普段は楽しく歌って、すっかり忘れていくだけなんですけど、振り返ってみるとそれがじんわりと心の支えになってたりするんだよね。

- え、新しい自分の可能性への扉となってくれます。
- ・信仰とは神と対峙することで、自分を見つめる行為だと思います。私はクリスチャンではないですが、ゴスペルを歌うことで自分をみつめ、自分の内なるものをさらけ出し、新たな自分を発見していくことが、私がゴスペルを歌う目的です。
- ・自分の中のいやな部分から逃げ出さないと前進していける力。
- ・自分の存在のあかし、大げさかもしれないけど、今自分が出ることを見つけた感じで、今の職場（病院）の患者さんに歌って差し上げたときに、とても喜んでいただいで、私でも、人の役に立てると実感した瞬間を味わってしまっって、忘れられないです。



**ご協力いただいた  
ゴスペルクワイア/グループの皆様**

The 246 Victory Fellowship Choir  
A.C.C.G.S  
Ako's Family Gospel Choir  
ALL4ONE  
Boon Earth Choir  
BRIGHT LIGHTS CHOIR  
BROWN BLESSED VOICE  
Crystal of Joy  
Eighth Colors  
EVERLASTING JOY  
Everyday People  
fafa gospel house  
FridayJammin' 他  
G.C.S.GOSPEL CARAVAN  
Good Samaritan Church Choir  
GOSPEL CHOIR J-PRAISE  
Gospel Mama  
Gospel Night21  
Gospel 塾京都校  
Grace Gospel Choir  
Grace of Jesus  
Graceful York  
Grace  
Grateful Heart Fellowship Choir  
Grateful Heart Gospel Choir  
Greenhill Gospel Choir  
Groovi'n shout (spell要確認)  
HARLEM JP CHOIR  
Heavenly Wind  
Heavenly Voices Gospel Choir  
HOLINESS CHURCH TRINITY GOSPEL  
House of the Lord (Hot L)  
Hyper Gospel Choir  
ICU Gospel Grace  
J-Brand  
Jesus Soul Choir  
JOY3 (ジョイキューブ)  
K.G.Blessed Choir  
KGRC  
Kindred Spirits in Jesus (KSJ)  
LaPraise  
La 1 Trinite Gospel Choir  
M's cry  
meadowlark's refrain  
Nathan's Children  
NHK gospel choir  
NKBC Singers  
NNC  
North Japan Nu Nation Mass Choir  
oasis-gospel-choir  
OJC  
OViC  
Rejoicing  
Rose  
Shin's Community Choir (GSC)  
Sound Heal  
spirituals (スピリチュアルズ)  
T-Grace Choir (富山)  
TGC (十勝ゴスペルクワイア)  
The Grace of God Choir

皆様からの回答は以上です。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。貴重な時間を割いて、貴重な思いを分かち合わせていただいたこと感謝いたします。

皆様のおかげで、「日本のゴスペル」の素顔が少し見えたような気がします。アンケートを熟読していると、まるでみなさんとひとりずつ、差して飲んでるような気さえました(笑)。ひとつひとつの意見に胸一杯、そして、とつても励まされました。

ゴスペルはGOOD NEWSでありました。

TOKYO SOULMATIC MASS CHOIR  
Total Praise Gospel Choir  
TVOP (Tokyo Voices Of Praise)  
Voce  
Voice Of Grace  
Voice of Joy  
VOICE OF NAGATA 21  
voice of peace  
voice of sanctuary  
Voice of Seer  
Voices of Vision  
will  
wings gospel choir  
Without You  
ゴスペリンルーチェ  
ゴスペルコネクションスタジオ (GCS)  
ゴスペルパーティー  
ゴスペル東京  
コミティッドクワイヤー  
ジョイフル・ゴスペル・クワイア  
スウィートインスピレーション  
スタジオギア  
大阪リバイバルブレイス  
てだのふあ  
ビューティーアカデミークワイア  
ファイブ・ソウル・ブラザーズ  
ヤマノミュージックサロン有楽町  
ヤマハミュージックスクール各所  
ヨコハマクワイア  
ワールドソウルコーラス東京 (WSCT)  
会津マスクワイア (AMC)  
亀有ゴスペルクワイヤー  
九州福音センター  
神戸西部教会聖歌隊他  
大阪女学院ゴスペルクワイア  
池袋センターゴスペルクワイヤー  
東京キリストの教会Gospel Choir  
読売文化センター錦糸町  
北陸グレースマスクワイア  
(アルファベット順、アイウエオ順)

アンケート集計作業協力 / 布施多真美・綿貫友美